

令和4年度「専修学校による地域産業中核的人材養成事業」
沖縄・観光分野における有機的高専連携プログラム開発・実証事業

事業報告書

令和5年2月

学校法人 KBC学園

専修学校 インターナショナルリゾートカレッジ

本報告書は、文部科学省の教育政策推進事業委託費による委託事業として学校法人KBC学園 専修学校 インターナショナルリゾートカレッジが実施した令和4年度「専修学校による地域産業中核的人材養成事業」の成果をとりまとめたものです。

目次

第1部	事業の概要	
1	事業の実施体制	1
2	各機関の役割・協力体制	
2.1	高等学校	2
2.2	行政機関	2
2.3	専門学校	3
2.4	企業	3
3	事業の趣旨・目的等	
3.1	事業の趣旨	4
3.2	学習ターゲット、目指すべき人物像	4
3.3	当該教育プログラムが必要な背景について	
3.3.1	沖縄観光の現状と新たな展望	5
3.3.2	新しい時代の沖縄観光を支える人材育成の 必要性	7
4	開発する教育プログラムの概要	
4.1	内容	10
4.2	開発するプログラム全体図	12
4.3	高専連携接続の課題と解決方法	12
5	令和4年度の取り組み	13
6	事業実施に伴うアウトプット（成果物）	13
第2部	令和4年度の活動	
1	令和4年度スケジュール	14
2	連携プログラム開発協議会	
2.1	連携プログラム開発協議会の設置	15
2.2	連携プログラム開発協議会の構成員（委員）	16
3	キャリア教育用教材の方向性と具体案の検討	
3.1	キャリア教育の定義	17
3.2	キャリア教育で育成すべき能力	17
3.3	高等学校におけるキャリア教育の目標	18
3.4	高校生の発達課題	18
3.5	高専連携で育成できる具体的能力例	18
3.6	キャリアプランニング能力向上プログラム案	19
3.7	委員意見	23

第3部 キャリア教育連携実証授業

1 具志川商業高等学校 職業講話①	
1.1 実施概要	26
1.2 生徒アンケート結果	
1.2.1 仕事理解	26
1.2.2 仕事知識	27
1.2.3 資格や技術理解	27
1.2.4 資格や技術の学び方	28
1.2.5 印象に残ったこと	29
1.2.6 講話を聞いた感想	33
1.3 講師アンケート結果	37
2 具志川商業高等学校 職業講話②	
2.1 実施概要	38
2.2 生徒アンケート結果	
2.2.1 仕事理解	38
2.2.2 仕事知識	39
2.2.3 資格や技術理解	39
2.2.4 資格や技術の学び方	40
2.2.5 印象に残ったこと	41
2.2.6 講話を聞いた感想	45
3 具志川商業高等学校 職業講話③	
3.1 実施概要	49
3.2 生徒アンケート結果	
3.2.1 仕事理解	49
3.2.2 仕事知識	50
3.2.3 資格や技術理解	50
3.2.4 資格や技術の学び方	51
3.2.5 印象に残ったこと	52
3.2.6 講話を聞いた感想	56
4 実証授業検討	60
5 高校、観光関連企業の採用・教育・定着の実態情報交換	
5.1 高校の現状	62
5.2 観光関連企業の情報	62
5.3 専門学校の状況	64

第4部 令和4年度開発教材の総括と次年度方針

1 令和4年度開発教材の総括

1.1 「観光業の仕事」キャリア教育教材

1.1.1 観光の仕事（動画視聴）

1.1.1.1 動画教材 66

1.1.1.2 動画視聴ノート 66

1.1.2 観光の仕事（PPT）

1.1.2.1 オフライン授業用PPT 67

1.1.2.2 授業ノート 67

1.1.3 観光の仕事（テキスト）

1.1.3.1 生徒用テキスト例 68

1.1.3.2 教員用指導テキスト例 69

1.2 「ブライダルの仕事」キャリア教育教材

1.2.1 ブライダルの仕事（動画視聴）

1.2.1.1 動画教材 72

1.2.1.2 動画視聴ノート 72

1.2.2 ブライダルの仕事（PPT）

1.2.2.1 オフライン授業用PPT 73

1.2.2.2 授業ノート 73

1.2.3 ブライダルの仕事（テキスト）

1.2.3.1 生徒用テキスト例 74

1.2.3.2 教員用指導テキスト例 75

1.2.4 コマシラバス 79

1.3 高校1・2年生対応 キャリアプランニング能力向上教材

「職業図鑑」 81

1.3.1 「職業図鑑」インタビュー動画 82

1.3.2 「職業図鑑」ヒアリングシート 84

1.3.3 キャリア教育効果測定用評価シート 90

1.4 令和4年度開発教材検討 92

2 令和5年度の取り組みの指針

2.1 高校現場から 94

2.2 企業と高校等の協力について 95

目次

第1部

図 1-1	事業の実施体制図	1
図 2-1	各機関の役割と協力体制図	2
図 3-1	県内入域観光客数推移	5
図 3-2	アフター・コロナ時代の沖縄観光	7
図 3-3	沖縄の進学率	8
図 4-1	プログラム概要 1	10
図 4-2	プログラム概要 2	11
図 4-3	プログラム全体図	12
図 4-4	高専連携接続の課題と解決方法図	12

第3部

図 1-1	仕事理解	26
図 1-2	仕事知識	27
図 1-3	資格や技術理解	27
図 1-4	資格や技術学び方	28
図 2-1	仕事理解	38
図 2-2	仕事知識	39
図 2-3	資格や技術理解	39
図 2-4	資格や技術学び方	40
図 3-1	仕事理解	49
図 3-2	仕事知識	50
図 3-3	資格や技術理解	50
図 3-4	資格や技術学び方	51

表 目次

第2部	
表 1-1 令和4年度スケジュール	14
表 2-1 連携プログラム開発協議会	15
表 2-2 連携プログラム開発協議会委員	16
表 3-1 基礎的・汎用的能力	17
表 3-2 高校生の発達課題	18
表 3-3 高専連携で育成できる具体的能力例	18

資料

アンケート用紙	97
実証授業コマシラバス	101
授業資料	102

議事録

第1回プログラム検討委員会	110
第2回プログラム検討委員会	114
第3回プログラム検討委員会	119

第1部 事業の概要

1 事業の実施体制

行政機関、高等学校、企業、専門学校四者によるコンソーシアムを構築。「連携プログラム開発協議会」を設立し、高・専一貫プログラムの計画を立案する。

計画を基に開発プログラム実証授業を開催し、プログラムの検証評価委員会によってプログラムの評価を行う。検証結果を基に新たな計画に反映させ実証授業を行う。このPDCAサイクルを有機的に機能させ、実効性・教育効果の高い連携プログラムを開発する。

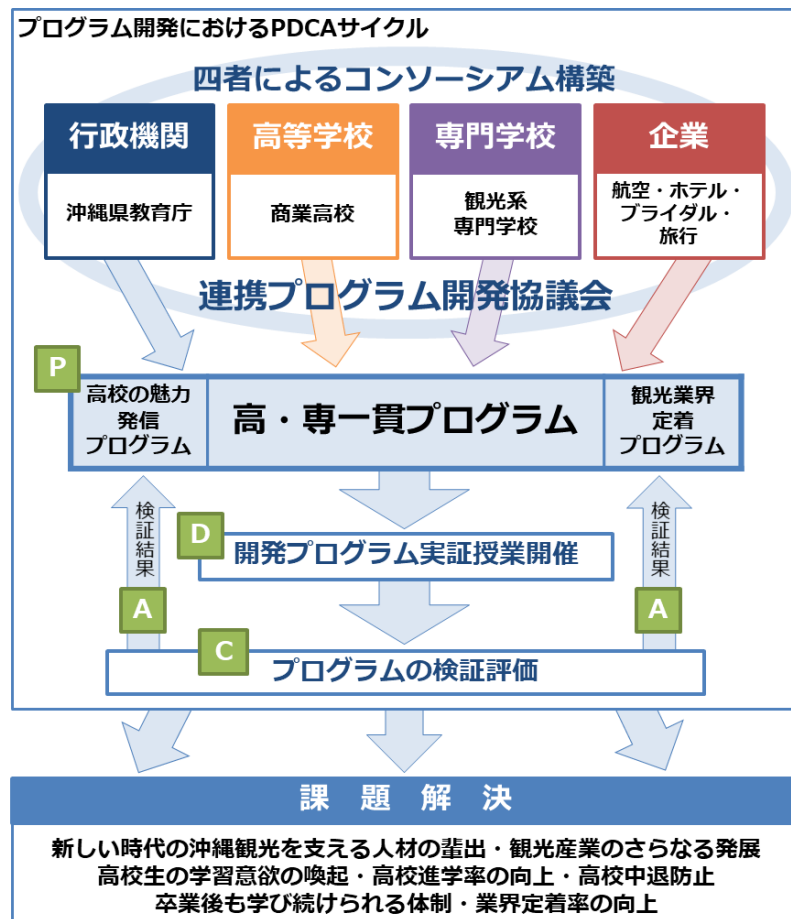


図 1-1 事業の実施体制図

2 各機関の役割・協力体制

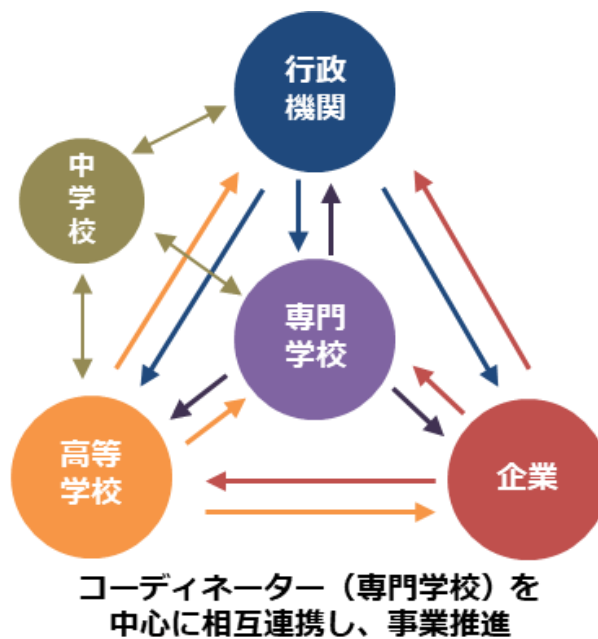


図 2-1 各機関の役割と協力体制図

2.1 高等学校

- 高等学校の課題やニーズ踏まえカリキュラムへ提言
- カリキュラム作成
- 高等学校に進学する中学生への広報周知、募集活動
- 学習指導要領とのすり合わせ

2.2 行政機関

- 地域課題、ニーズ踏まえカリキュラムへ提言
- 高等学校での単位認定の検討、方向性明示
- 県内中学校へ連携強化

2.3 専門学校

- コーディネーター業務
 - ・高等学校、行政、企業との橋渡し
 - ・全体調整、進捗管理、体制構築
 - ・連携プログラム開発協議会の運営
 - ・連携校、連携企業の開拓
 - ・開発プログラム普及活動
- カリキュラム作成、教材開発
- プログラム受講の高校生への学費減免検討
- 高校生の実習受け入れ
- 高等学校と企業との仲介

2.4 企業

- 業界の課題やニーズを踏まえカリキュラムへ提言
- 高校生、専門学校生の実習受け入れ
- 職業人講和講師

3 事業の趣旨・目的等

3.1 事業の趣旨

観光産業は沖縄のリーディング産業として県経済をけん引するものであるが、現在はコロナウィルス感染症拡大により、多大なダメージを受けている。ウィズ・コロナ時代の後に訪れるアフター・コロナ時代は量を重視する観光から質を重視する観光への転換により、良質で持続可能な観光（サステイナブル・ツーリズム）を目指すべきとしている。我々は新しい時代の沖縄観光を支え、沖縄の観光を量から質へと転換し、良質で持続可能な観光を拡充できる次世代観光人材を育成するプログラムを本事業で開発していく。

開発プログラムは「高校生」「専門学校生」はもちろん、高校と専門学校の前後に位置する「中学生」及び「社会人」も包括する。時系列に見ると、中学と高校の橋渡しとして「高校の魅力発信プログラム」を開発。開発プログラムにより中学生にとっても魅力的な高校となり、地域課題である高校進学率の向上、高校中退防止に繋げる。次に、高校と専門学校で5年かけて学ぶ「高・専一貫プログラム」を開発。共通目標と一貫したカリキュラムを構築し、県経済をけん引する沖縄の観光産業を支える専門人材を育成する。そして、専門学校卒業後も学び続けられる体制づくりとして「観光業界定着プログラム」を開発。離職を減らし、観光業界への定着率を向上する。卒業生の業界での活躍は高・専一貫プログラムで学ぶ高校生と専門学校生の身近な将来像であり、将来像の明確化は共通の目標設定や一貫したカリキュラムの重要な要素となる。

開発プログラムにより沖縄の自然や文化等ソフトパワーを生かした高付加価値の新しいツーリズムが開拓されること、そして、沖縄の自然や文化を守りながら沖縄が世界から選ばれる持続可能な観光地となることに寄与したい。

3.2 学習ターゲット、目指すべき人物像

学習ターゲット：中学生、高校生、専門学校生、社会人

県経済をけん引する沖縄の観光産業を支える専門人材を育成。人材育成により沖縄の自然や文化等ソフトパワーを生かした高付加価値の新しいツーリズムが開拓され、沖縄の自然や文化を守りながら沖縄が世界から選ばれる持続可能な観光地へと発展させる。

3.3 当該教育プログラムが必要な背景について

3.3.1 沖縄観光の現状と新たな展望

◆ウィズ・コロナ時代の沖縄観光

現在、新型コロナウイルス感染症は沖縄県経済のリーディング産業である観光産業をはじめ、ありとあらゆる業界に多大なダメージを与えている。沖縄県文化観光スポーツ部観光政策課は今年4月、2020年度の県内入域観光客数が前年度比72.7%（688万5600人）減の258万3600人だったと発表した。新型コロナウイルス感染拡大に伴う旅行の自粛等により、過去最大の減少幅となった。国内客は63%（439万5200人）減の258万3600人。コロナ感染拡大によるGo Toトラベル事業の一時停止や、国や県の緊急事態宣言が出されたことなどが影響した。外国客は19年度に249万400人だったが、20年度はゼロ人。20年3月に国際線が全便運休となり、4月以降はゼロが続いている状態で、クルーズ船とともに運航再開の目途は立っていない。

ウィズ・コロナ時代の方針として、県は空港や港湾における水際対策や医療体制の拡充、検査拡大の推進を掲げている。観光産業復活の土台として、「安全・安心の島沖縄」の推進と国内外のターゲットを明確にしたプロモーションの展開が今まさに必要である。

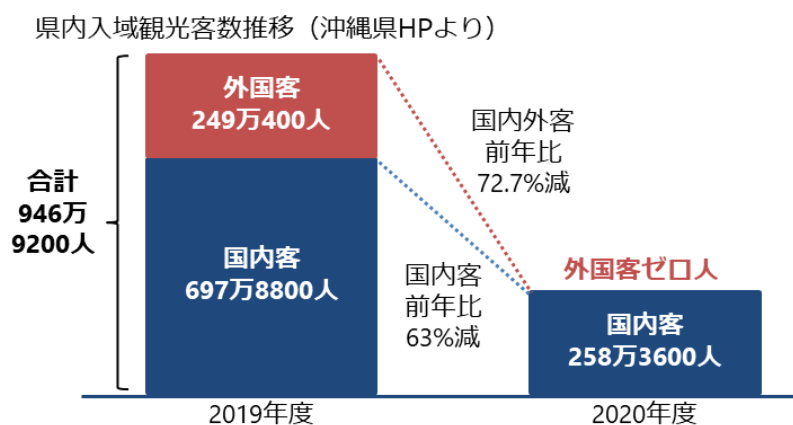


図 3-1 県内入域観光客数推移

◆アフター・コロナ時代の沖縄観光

コロナ前は沖縄に限らず、世界全体で海外旅行者数の増大、特にアジア等新興国からの旅行者数の大きな伸びが見込まれる一方で、観光が自然環境への影響や住民とのあつれき等、負の影響（オーバーツーリズム）をもたらしていた。持続的に発展する観光産業を目指す上では、観光における「量から質への転換」が重要である。そこで、沖縄県は今後の沖縄観光の基本方針として、

- (1) 観光リスクに対応する仕組みづくり
- (2) 持続可能な観光政策の推進
- (3) 持続可能な観光指標
- (4) 高次元のニーズに対応した質の高い観光の推進
- (5) 沖縄のソフトパワーを生かしたツーリズムの展開
- (6) 観光産業の多様化と高付加価値化
- (7) バリアフリー化の促進
- (8) 観光管理の強化とレスポンスブル・ツーリズムの推進
- (9) ターゲットマーケティングへのシフトチェンジ

を挙げている。(沖縄県「ウィズ・コロナ、アフター・コロナ時代の新たな沖縄観光基本方針」2021年3月より引用)

◆高次元ニーズ対応の観光推進と沖縄らしいSDGsの実現

多くの観光客を惹きつける力(=ソフトパワー)として自然(気候、海、陸、空、島々等)、沖縄固有の文化や歴史的資源がある。また、健康長寿という沖縄のソフトパワーを活用したウェルネス・ツーリズムは今後のターゲットマーケティング展開の1つの切り口と言える。さらに、沖縄の自然、歴史、文化など魅力ある観光リゾート資源を生かしたMICE(ビジネスイベント)との効果的連携や障害者対応をはじめとするユニバーサル・ツーリズム、野球やサッカーのキャンプ・大会誘致等、温暖な気候や既存インフラを活用したスポーツ・ツーリズムなど、高次元のニーズに対応した質の高い観光を推進する必要がある。そして、高次元ニーズ対応の観光推進と同時に、「沖縄らしいSDGs」の実現を目指していかなければならない。

3.3.2 新しい時代の沖縄観光を支える人材育成の必要性

◆沖縄が目指すべき新しい時代の観光

従来の量だけを追い求める観光は観光先の自然や文化、地元住民の生活に負の影響を与えることが多かったことを背景に、観光と地域の共存・共生に向けた新たなコンセプトとして、観光客と地域住民が価値を共有するレスポンスブル・ツーリズム（責任ある観光）が国際的な広がりを見せている。観光客数の増加と自然・文化の保護、住民とのバランスは沖縄にとっても解決すべき課題である。量から質を重視する観光への転換により、良質で持続可能な観光（サスティナブル・ツーリズム）を目指すべきである。

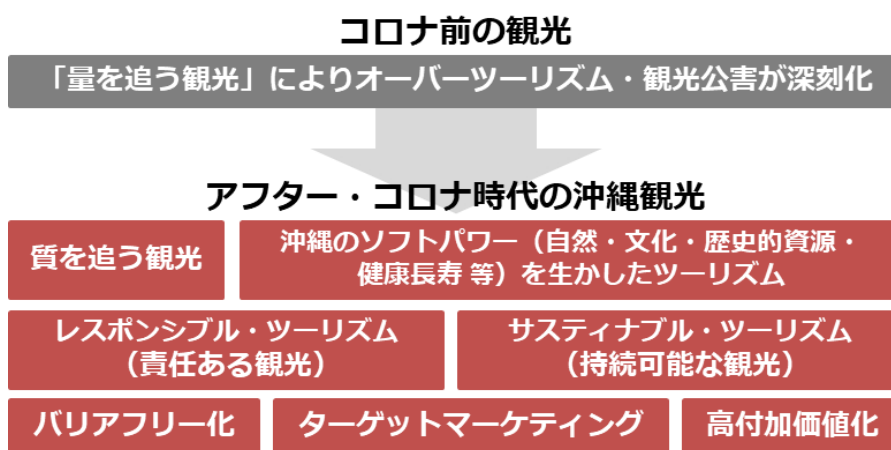


図 3-2 アフター・コロナ時代の沖縄観光

◆次世代観光人材育成の必要性

観光産業は沖縄のリーディング産業として県経済をけん引し、コロナ収束後もさらなる成長と発展が必須である。我々専門学校にとって、新しい時代の沖縄観光を支え、沖縄の観光を量から質へ転換し、良質で持続可能な観光を拡充できる次世代観光人材を育成することは今、最大の使命と言える。そこには、ウェルネス・ツーリズム等新しいツーリズムの開拓、オーバーツーリズムからレスポンシブル・ツーリズムへの転換など、新しい知識醸成が必要である。

◆「高専連携プログラム」による人材育成の意義

内閣府「沖縄の子供達を取り巻く現状」より、沖縄県の高校進学率は97.3%で全国順位は低いほうから1位、高校中退率は2.2%で全国順位は高いほうから1位となっている。沖縄県の大学等進学率は39.6%で全国順位は低いほうから1位であるが、専修学校進学率は24.1%で全国順位は高いほうから2位となっている。なお、沖縄県の子どもの相対的貧困率は29.9%で、全国平均の約2.2倍にのぼり、1人当たり県民所得は全国最下位となっている。

指標	沖縄	全国	沖縄の順位
高校進学率 (%)	97.3	98.8	低いほうから1位
高校中退率 (%)	2.2	1.4	高いほうから1位
大学等進学率 (%)	39.6	54.7	低いほうから1位
専修学校進学率 (%)	24.1	16.4	高いほうから2位

図 3-3 沖縄の進学率

専修学校への進学希望者が多い沖縄で、高校から5年という年月をかけて教育していくことは新しい時代の沖縄観光を支えるために必要不可欠である。現在、高校1年生（16歳）が専門学校教育を経て社会人となる2026年頃には沖縄のソフトパワーを生かした高付加価値の新しいツーリズムが開拓されつつも、沖縄の自然や文化、地域住民を守り、世界から選ばれる持続可能な観光地となることが強く求められる。

「ただ人数を追うのではなく、継続的に沖縄に来てくださるお客様、沖縄でお金を使っただけのお客様、お金だけではなく沖縄の自然や文化に対して尊敬の念を持っていただける質の高いお客様を求め、獲得していくこと」を高専連携プログラムで習得し、実践できる人材に育成していかなければならない。そして、アフター・コロナ時代に、高専連携プログラムで学んだ卒業生が即戦力となり、沖縄県のリーディング産業である観光をけん引していくことで、子どもの貧困率低下、そして県民所得増加という地域課題解決に寄与していく。

4 開発する教育プログラムの概要

4.1 内容

◆新しい時代の沖縄観光を支える人材を育成する総合プログラムを開発

沖縄の観光を量から質へ転換し、良質で持続可能な観光を拡充できる次世代観光人材を育成するために本事業で開発するプログラムは「高校」「専門学校」の前後に位置する「中学」「卒業後」を包括した総合プログラムとする。

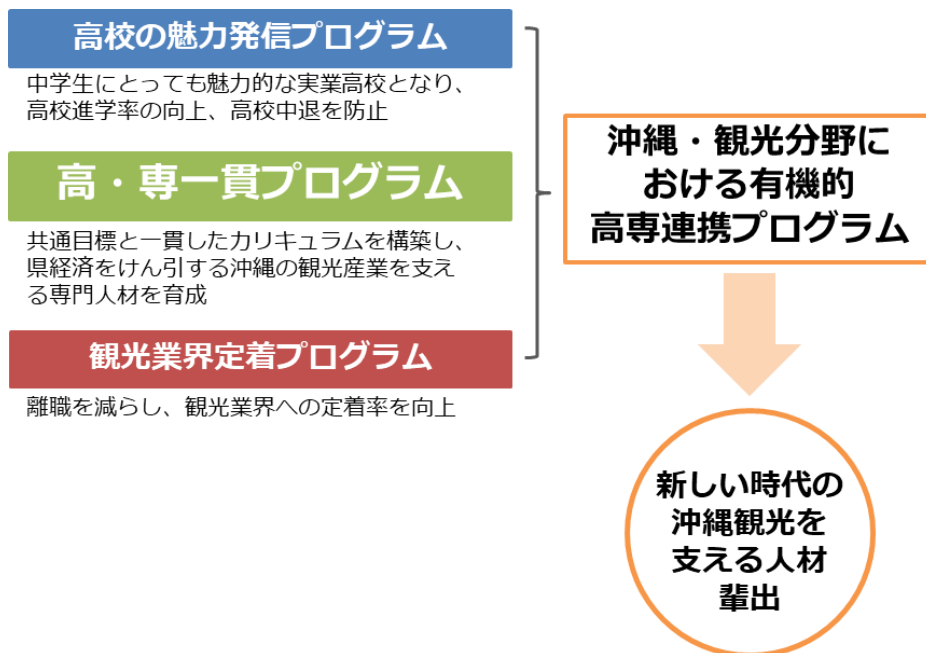


図 4-1 プログラム概要1

◆問題意識を持ち、解決法を考え、実践できる人材を育成

プログラム受講者が「5種」の観光人材に成り代わり、「7種」の問題の解決法を考える。新しい時代の沖縄観光を担う若い世代がプログラム通して沖縄の観光を量から質へ転換する方法を自ら問題提起し、解決法を見出し、実践していく。その実践力が県のリーディング産業である沖縄観光の未来を支え、沖縄を世界から選ばれる持続可能な観光地にしていく。

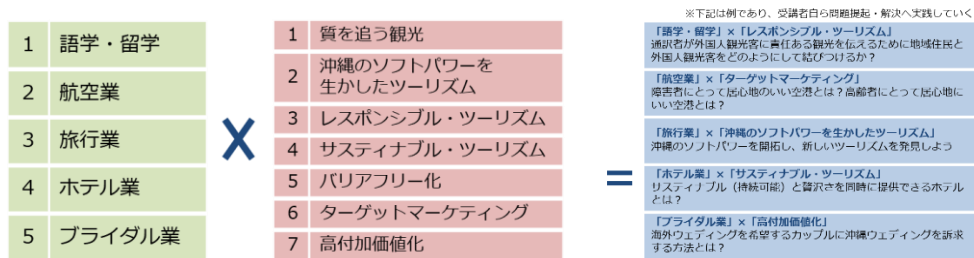


図 4-2 プログラム概要2

4.2 開発するプログラム全体図

◆開発するプログラム全体図

高校の魅力発信プログラム		高・専一貫プログラム					観光業界定着プログラム	
	中学	高校1年	高校2年	高校3年	高専接続	専門学校1年	専門学校2・3年	社会人
対象		商業高校（リゾート観光科等）				観光分野専門学校（語学・留学・航空・旅行・ホテル・ブライダル等）		
人数		60名	60名	60名		12名	12名	
プログラム概要	観光・商業高校の魅力伝える	観光人材として活躍する者に触れ、10年後の自分の将来の姿を具体化し、意欲的に学習に取り組む姿勢を身につける	各種理論を学び、基礎的な実践を繰り返すことで、成功体験を重ね自己肯定感と自信を醸成	目指す資格 新しい検定を独自開発 [仮称]観光ビジネス検定3級 実技・実習 沖縄のソフトパワーを生かした Tourismus を学び、課題発見と解決を共同作業により図る		新しい検定を独自開発 [仮称]観光ビジネス検定2級 実技・実習 沖縄の観光を量から質へ転換し、持続可能な観光にする方策を考えるワークショップメンバーとして参画	新しい検定を独自開発 [仮称]観光ビジネス検定1級 実技・実習 沖縄の観光を量から質へ転換し、持続可能な観光にする方策を考えるワークショップリーダーとして、企画、実践、後輩指導	高・専一貫プログラムを終了した卒業生が業界定着し、さらなる高度資格取得を目指す
学習内容	観光業の魅力に触れる・職業理解	観光の基礎知識・企業見学会・業界人講和	観光産業・郷土理解・校外実習・業界人講和	資格取得対策、サービス業に必要な基本的なマナーや社会常識と観光実習、課題解決実習		資格取得対策、サービス業に必要な知識、マナーや技能と実践、観光産業の現状と課題の理解、ワークショップ	資格取得対策、観光サービス業に必要な高度な技能と実践、ワークショップ	コミュニケーション・セルフケア・高度資格取得
育成能力	進学意欲・学習意欲	将来像明確化・学習意欲	学習意欲・自己肯定感・自己効力感	専門知識・課題発見能力・課題解決能力・コミュニケーション力		専門知識・コミュニケーション力・共感力・協調性	高度な専門知識・リーダーシップ・企画力・後輩指導力	より高度な専門知識・現場力

高専接続方法
 高・専一貫プログラムを受講している高校生と受講していない高校生に学力差が出ないための取組み実施（次頁に詳細記載）

図 4-3 プログラム全体図

4.3 高専連携接続の課題と解決方法

	高・専一貫プログラム	高校3年	専門学校1年	専門学校2・3年	社会人
目指す資格			新しい検定を独自開発 [仮称]観光ビジネス検定3級	新しい検定を独自開発 [仮称]観光ビジネス検定2級	新しい検定を独自開発 [仮称]観光ビジネス検定1級
実技・実習			沖縄の観光を量から質へ転換し、持続可能な観光にする方策を考えるワークショップメンバーとして参画	沖縄の観光を量から質へ転換し、持続可能な観光にする方策を考えるワークショップリーダーとして、企画、実践、後輩指導	沖縄の観光を量から質へ転換し、持続可能な観光にする方策を考えるワークショップアドバイザーとして参画

通常の対面授業

通信化するため、卒業後も引き続き学習できる

通常の対面授業より先行学習しているため、この部分を通信化することで高専接続の課題を解決

高・専一貫プログラムを高校から受講している者と受講していない者で学習時期のズレはあるが、高校生、専門学校生、社会人が同テーマのワークショップを実施し、ワークショップメンバー→リーダー→アドバイザーと段階的に人材育成できるプログラムにすることで高専接続および専企接続の課題を解決

図 4-4 高専連携接続の課題と解決方法図

5 令和4年度の取り組み

1. カリキュラム開発
 高校向けカリキュラム
2. 教材開発
 高校生向け教材、シラバス、コマシラバス開発
3. 実証授業の開催
 授業実施、アンケート集計、検証評価
 ※受講対象者：高校生
4. プログラム開発協議会開催
 開発カリキュラム課題整理
 高専接続方法検討
5. コーディネーター業務
 高等学校、行政、企業の橋渡し
 全体調整、進捗管理、体制構築
 連携校、連携企業の開拓

6 事業実施に伴うアウトプット（成果物）

1. 開発プログラム（高校3年向け）
2. 教材、シラバス、コマシラバス
3. 評価基準及び評価シート
4. 事業報告書、Webサイトでの報告、事業PR動画

第2部 令和4年度の活動

1 令和4年度スケジュール

時期	連携プログラム開発協議会	高校向け実証授業	プログラム開発 (オンライン教材) (キャリア教材)	コーディネーター業務
7月		カリキュラム開発		高校・行政・企業への周知、連携プログラム開発協議会運営 連携校、連携企業の開拓
8月	第1回開催	カリキュラム開発		
9月		実証授業		
10月		実証授業	(キャリア教材)	
11月		実証授業	(キャリア教材) (オンライン教材)	
12月	第2回開催	実証授業	(キャリア教材) (オンライン教材)	
1月	第3回開催		(キャリア教材)	
2月				事業報告書作成

表 1-1 令和4年度スケジュール

◆開発に向けた学内及び協力機関間での調整に関する見込み

プログラム開発のための協議会開催

プログラム開発に向け、高校・専門学校・教育行政・企業が横断的に連携するプログラム開発協議会を発足。

各機関より委員を選定し、現場の抱える課題や、解決に向けての方法を検討。

開催回数：令和4年度…年3回

2 連携プログラム開発協議会

2.1 連携プログラム開発協議会の設置

目的・役割	高等学校、行政、専門学校、企業の四者による高専連携プログラム開発に向けた協議会を発足、プログラム開発に向けた委員会を開催する。ヒアリング調査の分析、課題及びニーズ整理、開発内容の選定を行う。また、開発プログラムの課題整理、導入に向けた手順を整理する。		
検討の具体的内容	開発カリキュラム作成 開発カリキュラム課題整理 開発カリキュラム導入手順整理 開発カリキュラム検証 開発教材、シラバス、コマシラバス検証 実証授業教育効果検証 プログラム受講の高校生への学費減免検討 全国普及に向けた課題整理 全国普及に向けた取組み検討		
委員数	15人	開催頻度	令和4年度：年3回

表 2-1 連携プログラム開発協議会

2.2 連携プログラム開発協議会の構成員（委員）

氏名		所属・職名	役割等	都道府県名
1	小那覇 千栄子	沖縄県立具志川商業高等学校 教諭	委員	沖縄県
2	外間 勝	沖縄県教育庁 県立学校教育課 指導主事	委員	沖縄県
3	立石 公平	学校法人静岡理工科大学 静岡インターナショナル・エア・リゾート 専門学校 教務課長	委員	静岡県
4	山城 秀康	株式会社国際旅行社 取締役総務部長	委員	沖縄県
5	高橋 俊博	タピック沖縄株式会社 ユインチホテル南城 管理部戦略人事課長	委員	沖縄県
6	内間 ゆり絵	沖縄ワタバウエディング株式会社 人事総務部 人材開発チーム マネージャー	委員	沖縄県
7	金城 かおり	JAL スカイエアポート沖縄株式会社 地域事業推進室 室長	委員	沖縄県
8	近藤 賢宏	学校法人KBC学園 インターナショナル リゾートカレッジ 教務部長	委員長	沖縄県
9	宮城 良之	学校法人KBC学園 インターナショナル リゾートカレッジ 教務課長	委員	沖縄県
10	新里 玲子	学校法人KBC学園 インターナショナル リゾートカレッジ 教務課長	委員	沖縄県
11	吉原 亜矢子	学校法人KBC学園 インターナショナル リゾートカレッジ 教務課長	委員	沖縄県
12	田村 明子	学校法人KBC学園 インターナショナル リゾートカレッジ 教務課主任	委員	沖縄県
13	細谷 麻衣	学校法人KBC学園 インターナショナル リゾートカレッジ 就職課主任	委員	沖縄県
14	喜納 政一	学園本部経営企画部 進路相談課 課長兼 就職支援担当	委員	沖縄県
15	仲宗根 真	学園本部 経営企画部 部長	事務局	沖縄県

表 2-2 連携プログラム開発協議会委員

3 キャリア教育用教材の方向性と具体案の検討

連携プログラム開発協議会に以下内容を諮った

3.1 キャリア教育の定義

「ひとりひとりの社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通してキャリア発進を促す教育」

(H23.1 今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について一答申-[文部科学省])

3.2 キャリア教育で育成すべき能力

基礎的・汎用的能力

人間関係形成・社会形成能力	多様な他者の考えや立場を理解し、相手の意見を聴いて自分の考えを正確に伝えることができるとともに、自分の置かれている状況を受け止め、役割を果たしつつ他者と協力・協働して社会に参画し、今後の社会を積極的に形成することができる力
自己理解・自己管理能力	自分が「できること」「意義を感じること」「したいこと」について、社会との相互関係を保ちつつ、今後の自分自身の可能性を含めた肯定的な理解に基づき主体的に行動すると同時に、自らの思考や感情を律し、かつ、今後の成長のために進んで学ぼうとする力
課題対応能力	仕事をする上での様々な課題を発見・分析し、適切な計画を立ててその課題を処理し、解決することができる力
キャリアプランニング能力	「働くこと」を担う意義を理解し、自らが果たすべき様々な立場や役割との関連を踏まえて「働くこと」を位置づけ、多様な生き方に関する様々な情報を適切に取捨選択・活用しながら、自ら主体的に判断してキャリアを形成していく力

(H23.1 今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について一答申-[文部科学省])

表 3-1 基礎的・汎用的能力

3.3 高等学校におけるキャリア教育の目標

- ・自己理解の深化と自己受容
- ・将来設計の立案と社会的移行の準備
- ・選択基準としての勤労観・職業観の確立
- ・進路の現実吟味と試行的参加

(H22.2 自分を社会に生かし、自立を目指すキャリア教育[国立教育政策研究所生徒指導研究センター])

3.4 高校生の発達課題

高校1年生	高校2年生	高校3年生
○新しい環境に適応すると共に他者との望ましい人間関係を構築する ○学習活動を通して自己の能力適性を理解する ○様々な情報を収集し進路選択の幅を広げる	○他者の価値観や個性を肯定的に認め、受容する ○学習活動を通して勤労観・職業観を育成する ○自己の職業的な適性を理解し将来設計を図る ○進路実現に向けた課題を理解し、検討する	○自己の能力適性を的確に判断し、卒業後の進路について具体的な目標と課題を定め実行に移す ○理想と現実の葛藤を通して困難を克服するスキルを身につける

(H22.2 自分を社会に生かし、自立を目指すキャリア教育[国立教育政策研究所生徒指導研究センター])

表 3-2 高校生の発達課題

3.5 高専連携で育成できる具体的能力例

基礎的・汎用的能力

人間関係形成・社会形成能力	ビジネスマナー コミュニケーション力（傾聴力・会話力）
自己理解・自己管理能力	
課題対応能力	高専連携イベント （計画・実行・課題発見・課題解決）
キャリアプランニング能力	職業人インタビュー （学ぶこと、働くことの意義、多くの職業を知る）

表 3-3 高専連携で育成できる具体的能力例

3.6 キャリアプランニング能力向上プログラム案

「職業図鑑」概要

目指す教育目標

- 自己理解の深化と自己受容
- 将来設計の立案と社会的移行の準備
- 選択基準としての勤労観・職業観の確立
- 進路の現実吟味と試行的参加

<3つの特徴>

職場見学・職業人講話聴講をすることなく、教室やオンラインで多くの職業を知ることができます。

勤労観・職業観を育成し、将来的設計を図りやすくします。

自己の進路実現に向けた課題を理解し、学ぶことの意欲を高めます。

<2つの教材>

①「15分程度の職業人インタビュー動画」を視聴して、思ったこと、考えたことを自由に文章にし、行動目標を立てる教材。

②「15分程度の職業人インタビュー動画の抜粋」を視聴しながら、インタビュー内容を要約し文章にする教材。

教材評価手法：視聴前後に、職業観変容調査を実施します。

学習評価手法：ループリック評価を確立します。

(評価項目は生徒自由記述キーワードから作成予定)

キャリアプランニング能力向上教材①
(職業インタビュー視聴用)

「職業図鑑」

～ベルアテンダント（ホテル）～



目指すこと

- ・「さまざまな職業を知り」、興味を持とう
- ・「自分の特徴（できること・したいこと）」について考えよう
- ・将来、「職業人」になるための準備をしよう
- ・「なぜ、働くか」を考えてみよう

「ベルアテンダント」インタビューシート (11分)

これから、「職業図鑑」の動画を視聴します。あなたは、「**後輩にベルアテンダントの仕事内容を説明するために**」メモを取ります。メモを取るインタビューは、**緑色で「インタビューを集中して聴こう」**の表示が出ます。メモをシートに書く時間を 30 秒ほど取っていますので、その間に書いてください。メモを取らないインタビューは、ピンク色で内容を書いています。まとめ方の参考にしてください。

メモ1 この仕事に就こうと思った理由は？

メモ2 仕事をするとき、気をつけていることは？

メモ3 どんな時にこの仕事をしていてよかった、と思いますか。

メモ4 この仕事に就くためにはどんな資格や免許が必要ですか。

メモ5 この仕事に就こうとしている人へのアドバイスをお願いします。

メモ6 仕事を通じて成長したことは？

3.7 委員意見

- ・記入シートに「ベルアテンダントの一日の仕事内容を後輩に説明できるか？」という質問があるが、資料③では一日の仕事の流れについて触れていたが資料④の動画にはなかったのでこの質問に答えることは難しいと思った。
- ・「ホテルスタッフ」というと、さまざまなセクションがあると思う。「ベルアテンダント」に絞って特化する方と大雑把に大きく「ホテルスタッフ」という形にして高校生に伝える方法とどちらが良いか疑問に湧いた。先ほど見た動画内容は、前半はホテルスタッフとしてのインタビューだったので感じたのでベルアテンダントという細かい仕事に即した内容と不整合が発生すると思う。
- ・インターネットでの調べ学習や職業講話などを取り入れて、学校でも職業の説明は普段から心がけて行っているが限られた業種しかできていない。
- ・このような動画を見ながらメモをまとめていくものは、ベルアテンダント以外の業種でもできるととてもいい教材になると思う。教科書ではなかなか調べることができないことが教材としてであると非常に学校としては有難く、助かる。
- ・動画と質問が一致しており、生徒たちもまとめられると思う。しかし生徒によって注力して聞きたい所が異なるので、次の質問を聞き逃してしまうこともあるかもしれない。その場合は巻き戻してもう一度聞くなど自分たちで工夫してカバーすることができると思う。
- ・インタビューの合間や背景でも構わないので、実際に働いている様子や動きが見えるともっとイメージがしやすくなると思う。言葉だけではなかなか想像することができない子もいるので、動きのある場面も見られると良いのでは。
- ・インタビューで答えの後に理由を述べていた。社会人としての話し方を気づかせる質問等もあるとこれらの範囲も学ぶことができると思うので検討してもらいたい。
- ・資料④の動画を見る前に資料③の全体動画を見るのであれば、有効的と感じた。今日は記入用の動画視聴だったので、まとめる方に集中してしまい、理解までは少し届かなかった。また自分自身がベルアテンダントに従事していたので、ある程度答えが推測できたこともスムーズな解答に繋がったとのではと感じた。

・インタビューで仕事の経験を11年目と答えていた。目標の1つである3年以内の離職率低下やインタビューで一番つらかった時期が3年目と答えていた点を考えると、高校生に年代が近い、経験5年目程度の人に対してつらかった時期の乗り越え方などを質問して入れてはどうか。また憧れを抱かせることができる年齢の近い世代の方が、職業に対する意欲にもつながるのではないかと思った。

・聞いた話をまとめて伝えられるスキルは良いことなので、いいトレーニングになると思った。

・必要な資格に関する部分があったが、取得に向けていつ頃からどのようなことを行ったか、進学先の決め方などの質問もあると良いのでは。

・今の若い世代は文字より映像から情報を得ることに慣れている。映像教材は若い世代に合っており良いと思った。

・インタビューに集中して聴く質問と、それとは別のまとめに使える質問とが分かれている点がメモに集中し過ぎないので良い。メモを記入するためのストップ時間が長いと、前半の部分を忘れてしまうので、適度に短くして最後にまとめる時間を調整してもいいかもしれないと思った。

・今回、各委員から出た意見を集約してさらに良い教材制作に活かしてほしい。動画教材は高校生にとって良い教材ツールだと思う。

・視聴しやすい配慮が随所に見られる動画で素晴らしいと感じた。動画視聴からインプットした情報を後輩に説明するアウトプットを行う目的、自身の職業観を育てるなど、仲宗根氏は「欲張りすぎた」といっていたが、素晴らしいと思う。

・働いている様子が動画で視聴できるという点が一番良いと思った。コロナ禍の影響でインターンシップをなかなか受け入れてもらえない状況が続いている。言葉だけでなく、映像で見ることができると全然印象が違おうと思う。

・高校生に職業講話を行う際、魅力を感じて理解してもらいたいと考えている。インタビューを受ける人や企業がその点を意識しているかによって、話す内容が変わってくると思う。高校生が職業のどの点に魅力を感じるのか、企業がアピールしたい点、専門学校教員が魅力として伝えられる点を双方向で確認したうえでの動画制作を進めないと、高校生へ魅力が伝わる内容にならないと思う。

・この動画を視聴した高校生たちが就職するのは3～4年後になる。今と求められるスキルが変わっているかもしれない。人事担当より勉強しておいてほしいこと、業界で求められるものなどを事前にアドバイスできるものが入っていると、さらに高校生が目指す職業に対し明確な気持ちとなり企業も魅力を十二分に伝えることができると考えながら視聴していた。

・職業の魅力をもっと伝えたいと思っている人も多いので、企業、高校、専門学校が双方向になることでさらにより教材を作ることができると感じる。

・自身がこの教材を使い授業を行うことを想定した場合、理解を深めるためワーク記入後に隣とペアになり説明しあい、自身が得られなかった新しい情報を追記していけるようにすればさらに活用の幅が広がるのではないかと思った。

第3部 キャリア教育連携実証授業

1 具志川商業高等学校 職業講話①

1.1 実施概要

日時 令和4年7月11日 11:30~12:30
 対象 沖縄県立具志川商業高等学校 リゾート観光科 2年生
 人数 32名
 講師 インターナショナルリゾートカレッジ 田村明子先生
 内容 ホテル・ブライダル業界の職種、やりがい、必要な資質・スキル・検定、ホテル建設及び予約状況、業界就職までのフローチャート。披露宴動画紹介。

1.2 生徒アンケート結果

1.2.1 質問「本日の講話を受けて、仕事の内容が理解できましたか？」（平均4.9）

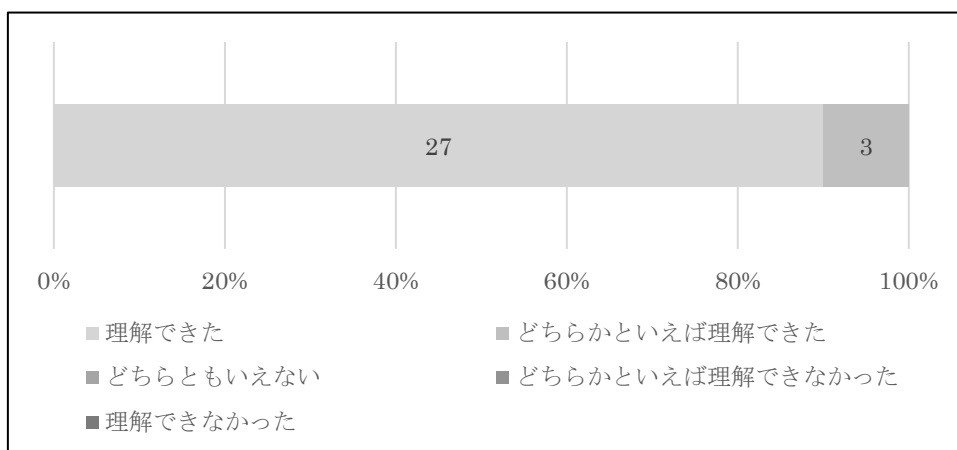


図 1-1 仕事理解

100%の生徒が、「理解できた」「どちらかといえば理解できた」と答えた。高専連携職業講話による職務内容理解度は非常に高い。

1.2.2 質問 「仕事に必要な知識がわかりましたか？」（平均 4.9）

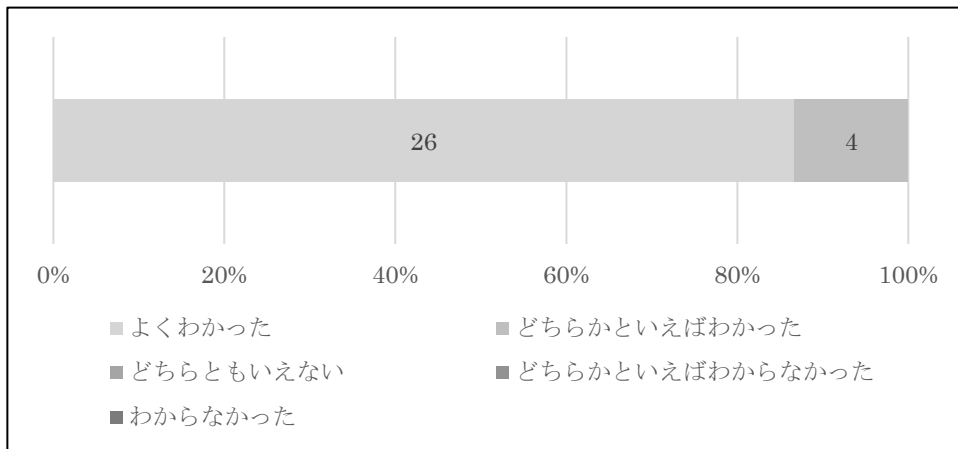


図 1-2 仕事知識

100%の生徒が、「理解できた」「どちらかといえば理解できた」と答えた。高専連携職業講話による職務知識理解度は非常に高い。

1.2.3 質問 「仕事に必要な資格や技術について理解ができましたか？」（平均 4.9）

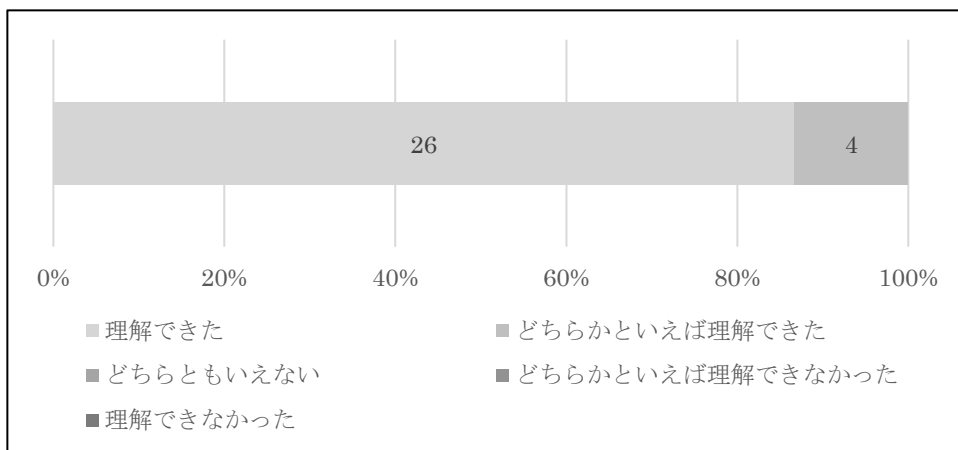


図 1-3 資格や技術理解

100%の生徒が、「理解できた」「どちらかといえば理解できた」と答えた。高専連携職業講話による必要資格・技術理解度は非常に高い。

1.2.4 質問 「必要な知識や資格・技術の学び方がわかりましたか？」（平均 4.8）

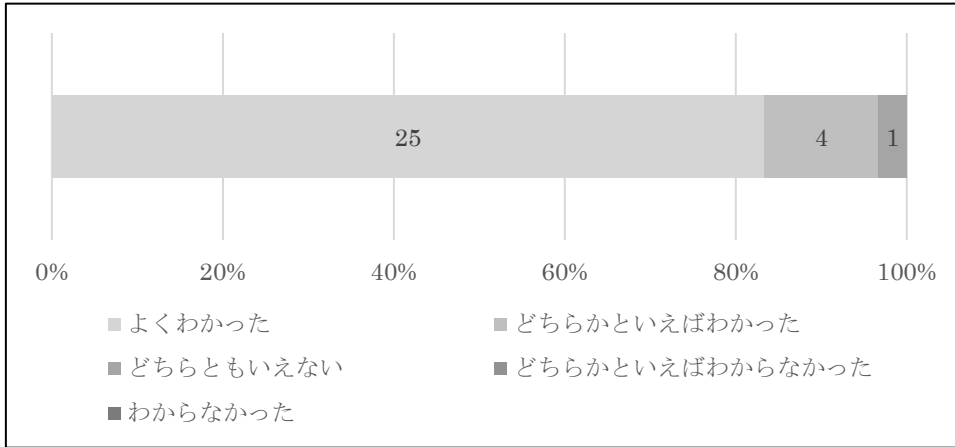


図 1-4 資格や技術学び方

97%の生徒が、「理解できた」「どちらかといえば理解できた」と答えた。高専連携職業講話による知識、資格・技術の習得方法の理解度は高いが、他の指標と比較すると低く今後改善の余地がある。

1.2.5 質問 「特に印象に残ったことや初めて知ったことを、箇条書きで記入してください。」

※生徒の書いた原文を忠実に表現するため、誤字や文章の訂正・修正を行っていない。また、句読点の位置も原文のままにしている。

<p>ホテルは沖縄は今も建設中のホテルがあって今注目をあびていることが分かった。</p> <p>ブライダルの仕事はお客様からとても感謝される仕事で、感動と一緒に感じれる仕事だということが分かった。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ホテル、ブライダルには思った以上にたくさんの職種がある。 ・ホテルのサプライズはコンシェルズ（※原文ママ）さんがお客様のご要望を聞いて用意してくれる。 ・ウエディングのサプライズは、ウエディングプランナーさんがお客様のご要望を聞いて用意してくれる。
<p>最後のブライダルの動画とっても感動した。ブライダルにも色んな（※原文ママ）仕事があって楽しそうだった。</p>
<p>ブライダルの仕事は、笑顔と感動があふれる素敵な仕事ということがわかりました。</p>
<p>結婚式の挙げるには大事な職業（※原文ママ）だと思った</p>
<p>新郎・新婦の一つの思い出のページにたずさわれるってすてきな仕事だと思いました。</p> <p>サプライズするって一つの思い出の一つになって一生の思い出になるんだろうなと思いました。</p> <p>興味がわく仕事の一つになりました。</p>

<ul style="list-style-type: none"> • HRS ホテルレストランサービス • 語学スキル • ブライダルコーディネーター • 通過儀礼
<p>ホテルの業界に興味があったけど、ウエディングについて知ったとき、人を喜ばせることが好きだし、沖縄も大好きだし、話すことも好きでウエディングの仕事の全部がかっこよくて、とても感動しました。また、こんなに人から感謝される仕事だとは初めて知りました。</p>
<ul style="list-style-type: none"> • 色々な結婚式の動画を見て、とても感動しました。 <p>しんろうしんぷが考えて、サプライズなどをして、とてもすごいなと思いました。</p>
<p>私が思ってた以上にホテルや結婚式のお仕事は種類が沢山ありびっくりしました。</p> <p>色々なお仕事があり、1つ1つの仕事とてもやりがいのある仕事沢山あり、沢山学ぶことが出来ました。</p>
<ul style="list-style-type: none"> • その他のお仕事で営業部、企画部などさまざまな仕事がある。 • 沖縄は世界などから注目をあびている。 • ブライダルは幸せ、華やか、感動、責任
<p>特に印象に残ったことは、ありがとうといわれるという話でこっちは仕事なのにありがとうという言葉がくれるとやる気がでるし、嬉しいと思うだろうなと考えました。</p>
<p>特に印象に残ったことは、結婚式です。結婚をする人たちのために、思い出に残るように、1人1人が一生けんめい仕事をしているんだと分かった。</p>

<p>ホテルマンやブライダルは、人に感謝されることが多い</p>
<p>ホテル業界は、色々な人たちがいて、色々な仕事で成り立っているんだなと思いました。</p> <p>ウエディングプランナーは、本当に幸せや感動を味わえる仕事だと思いました。</p>
<p>ホテルの仕事はベルマンといわれる人がいるんだなと初めて知りました</p>
<ul style="list-style-type: none"> • ブライダルの仕事給料高い、休日の休み多い • ウエディングプランナーお客様との信頼
<p>ブライダルやホテル業では、人と話すことが好きな人や、人を喜ばせる事が好きな人に向いているという話を聞いて動画を見てみたらプランナーさんや周りの方々のお陰で感動することのできる結婚式になるんだなと改めて思うことができました。</p>
<p>ブライダルという仕事の中にも、たくさんの種類があって、それぞれちがう仕事内容があるんだなと思いました。</p>
<p>最後のビデオが感動しました。</p>
<p>ブライダルの仕事は新郎新婦の一生に一度の思い出を責任をもって良い思い出にすることでやりがいを感じると知りました。</p>
<p>ホテルの中にたくさん仕事があったこと</p>
<p>ホテル・ブライダルのお仕事の中にも、ドアマンやハウスキーピング、宴会部など、その他にも沢山のいろいろなお仕事があることを感じました。</p> <p>特に印象に残ったことは、検定や資格は必ず必要とは限らないということです。私は他国の言葉を話せる人が、かっこいいなと思うので、語学の勉強を頑張ろうと思いました。</p>

<p>たくさんのお客様が沖縄に来てくれる事によってどんどんホテルが増えていて、すごいと思った。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・宴会部・音響・照明スタッフ・高額商品・営業部・アテンド・未体験商品 ・ハウスキーピング・サービススタッフ・消滅商品
<p>ブライダルの仕事では、新郎新婦の最高の結婚式にするために、色々なサポートや責任を持ちながら楽しく仕事ができる！！というのが印象に残りました。そして、ホテルの仕事では、1カ所の場所の1つの仕事だけでなく、ドアマン、ベルマン、コンシェルジュ、レストラン、ハウスキーピングの5つの仕事があるということが初知りでした。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・語学ができなくても大丈夫。(できた方がいい) ・1人1泊12万のホテルがある。 ・通過儀礼→生きていく中で通過するイベント。 ・専門学校か大学に行った方がいい。
<ul style="list-style-type: none"> ・ブライダルのお仕事とは・・・幸せ、華やか、感動、責任 ・最後の動画で感動して、印象に残りました。
<p>外国人観光客が、特に「日本の沖縄が一番旅行したい所」という事が驚き(※原文ママ)ました。最近までコロナ禍で、全然旅行者居なかったのにほとんどの沖縄のホテルが夏休みの間は満室ってのが意外でした。</p> <p>ブダイアル(※原文ママ)の仕事は、よく分かんなかったけど、裏ではあんなに努力のある仕事だと知った。</p>
<p>リゾートウエディングプランナーを初めて知ってびっくりしました。沖縄の結婚式は全部ホテルや結婚式場がやってると思ってたので県外の会社がやっているのを初めて知りました。</p>
<p>こんなに色々な種類の仕事があるんだと初めて学びました</p>

1.2.6 質問 「本日の講話を聞いて、感じたことや思ったことを自由に書いてください。」

※生徒の書いた原文を忠実に表現するため、誤字や文章の訂正・修正を行っていない。また、句読点の位置も原文のままにしている。

<p>どちらの仕事も今注目をあびていて、どちらの仕事もすてきな職業だということが分かりました。</p> <p>どちらの仕事もたくさんの方が責任をもって仕事をしているからお客様が満足できていることも知れました。</p> <p>お話を聞いて良かったです。ありがとうございました！</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・自分は結婚式場でバイトをしているのもっとやりがいを感じられるように頑張ろうと思いました。 ・ホテル・ブライダルの仕事は、本当に良い仕事なんだと思いました。
<p>ホテル楽しそうだけど、人としゃべル（※原文ママ）のが苦手だからむりかなって思った。ブライダル楽しそうだった。せんたくしが広がった。</p> <p>いい時間でした。ありがとうございました。</p>
<p>ホテルの仕事のやりがいは、かっこいい接客のプロになれるし、お客様からの「ありがとう」を仕事にできるし、自分自身が成長できるということが分かりました。</p>
<p>ブライダルプランナーは人に感動をあたえてくれる仕事の一つかなと思いました。少しなりたいたいと思ったけど、毎回式をあげるたび感動してなくなっちゃうーと思いました。</p>
<p>どちらの職業も人に感謝される素適（※原文ママ）なお仕事だということが分かりました。そして私は将来ウエディングプランナーになりたいと考えているので、とても参考になったし、いろんなことを学びました。いろんなことにチャレンジしていきたいです。</p>

自分はサプライズしたり、人を喜ばせることが好きなので、ウエディング系の仕事とても良いなと思いました。自分自身が成長できるし、人から感謝される仕事は、とてもやりがいがある仕事だなと感じました。とてもかっこいい仕事で、この業界に初めて就きたいと思いました。

ブライダルのお仕事は、本当にやりがいがあるお仕事なんだなと思いました。お客様を喜ばせたり、感動したり、とてもすてきなお仕事だなと思いました。

今回のお話をきいて、沢山のお仕事の内容を知ったり沢山学んでとても勉強になりました。

私も専門学校で沢山のことを学んでがんばってキラキラしたお仕事をしたいと思いました。

今日の講話を聞いて、ウエディングプランナー、ブライダルのお仕事、ホテルのお仕事はどんなものか細かく知ることができました。私は、ホテルへの就職を考えていたこともあり、現在は進路について迷っているので今日は良い機会になりました。ありがとうございました。

大変なこともいっぱいあるだろうし、それでもやりがいがあって楽しそうだなと思いました。

今回の講話を聞いて、将来の職業選択の幅が広がったので良い経験になりました。

思い出に残っている式や、動画を見て、めちゃくちゃ感動して、自分が担当した新郎新婦の式は、もっと感動するんだろうなと感じ、興味をもちました。

ウエディングの仕事はとても感動的だなと思いました。

ホテルもブライダルのお仕事もお客様と沢山関わって幸せをわけてもらえるようなとっても良い仕事だなって思った。

仕事には大変な職場も沢山あるけどホテルやブライダルはお客様の笑顔や「ありがとう」を仕事にする事ができるのはとても良い仕事だと思いました。

ブライダルの仕事をとても良い仕事だなと思いました。

そしてお客様に信頼を持ってもらうのはとても大変で大切な仕事だなと感じました。

もっと将来の事とかを考えながら、生きていきたいです。

お客様にとって幸せな思い出をつくることに幸せを感じるいい仕事だと思いました。

ブライダルという仕事はとても感動的で、みりょくのある仕事だともおもいました！

結婚式のビデオを見たときに、とても感動しました。今までやってみたいなーと思う仕事は無かったけど、ブライダルやホテルの仕事に興味を持ちました。短い時間でしたが、とても分かりやすく構儀（※原文ママ）をしてくださりありがとうございました。

少しホテルの仕事も楽しそうだなと思いました！

ホテルのお仕事はたくさんあるということが分かりました。私たちが楽しく、気持ちよく利用できるのは、様々なお仕事をしてくれてるからだと思うと感謝したいです。また、ブライダルでは、映像を見て、感動しました。私も新郎新婦のお手伝いをして、喜んでもらえるようになりたいです。

ホテルの仕事もブライダルの仕事も、どちらもとても感謝されてとてもやりがいのある仕事ということが分かりました。本日の講話を聞いて、もっとホテルマンになりたいと思いました。

今回の講話でホテルとブライダルの仕事内容がわかりました。特にブライダルは幸せ、華やか、感動、責任というところが大切だと思いました。最後の動画がとても感動的で、僕も結婚したくなりました。

最後の結婚式の画像や、妊娠のストーリーをきいて、とても感動しました。私も将来こういう、輝く未来がまっている・・・??

高校終わったら、仕事に就きたいと思ってるので、御客様から、感謝されるような存在になれるよう、努力したいです!!

ホテルが好きなので、色んなことが聞けてうれしかったです。今以上にホテルに興味が出てきて、もっと自分で色んな事を調べて進路で選らべる（※原文ママ）ように頑張ります。

リゾートカレッジで学習したことは、ホテル業やブライダル業会（※原文ママ）で接客と学んだ。（※原文ママ）

こんなに感動する仕事とは思わなくて、やってみたいなと思いました。

1.3 講師アンケート結果

質問 1 本日実施していただいた講義の中で、生徒の理解度を向上させる方法のアイデア（講義方法や教材など）があればお書きください。

生徒に見て頂くパワーポイントの言葉は少なくし、なるべく画像を多く使いイメージをしてもらえるように意識しました。

質問 2 本日実施していただいた講義の中で、生徒の学習意欲を向上させる方法のアイデア（講義方法や教材など）があればお書きください。

説明の順番について、ホテルの講話は導入で意欲を向上させれるように最新の業界情報からスタートしました。また講話の最後にはブライダルの仕事の良さを知って頂けるような動画を流し終了しています。

質問 3 本日担当していただいた講義の、ご感想、お気づきの点、改善点などがございましたら、ご自由にご記入ください。

今回、2年生を対象とし講話をさせて頂きました。
ご自身の将来について考え始めている時期だからかもしれませんが皆さんが前のめりで話を聞いてくださり、嬉しかったです。

また、事前学習をされていると今回の講話前の担当の先生とのお話で知りました。

事前学習で、気になった点などを事前に教えて頂ければ、その内容を含めて準備する事も可能ですので共有頂ければと思いました。

もっと高校の先生たちの要望やお話を伺い、効果的な講話をしていきたいと思います。

ありがとうございました。

2 具志川商業高等学校 職業講話②

2.1 実施概要

日時 令和4年10月24日 11:30~12:30
 対象 沖縄県立具志川商業高等学校 リゾート観光科 2年生
 人数 33名
 講師 インターナショナルリゾートカレッジ 新里 玲子先生
 内容 語学・留学を生かした職業理解。語学力を活かせる仕事。自分の性格を知り職業適性について学ぶ。英語を活かせるポイント。留学について体験動画。クイズ形式で異文化理解。

2.2 生徒アンケート結果

2.2.1 質問「本日の講話を受けて、仕事の内容が理解できましたか？」（平均4.7）

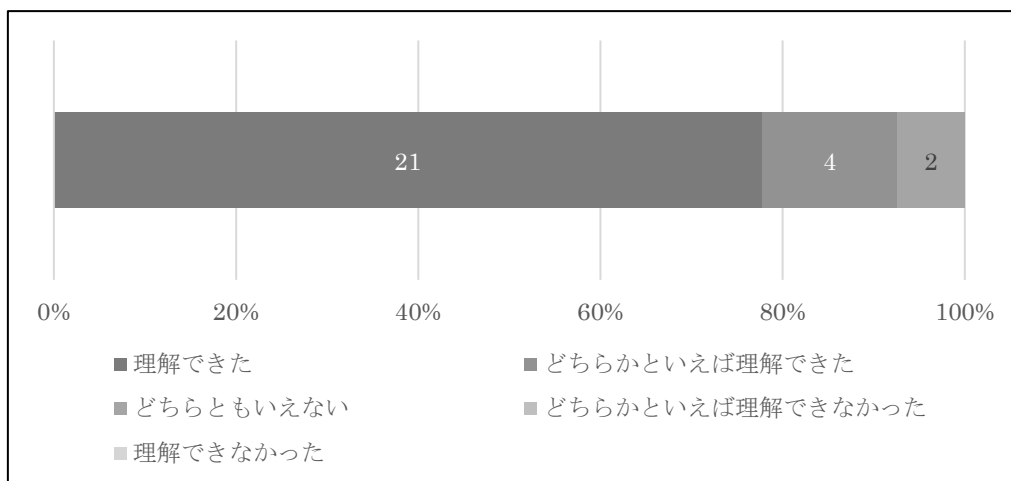


図 2-1 仕事理解

93%の生徒が、「理解できた」「どちらかといえば理解できた」と答えた。高専連携職業講話による職務内容理解度は高い。

2.2.2 質問 「仕事に必要な知識がわかりましたか？」（平均 4.7）

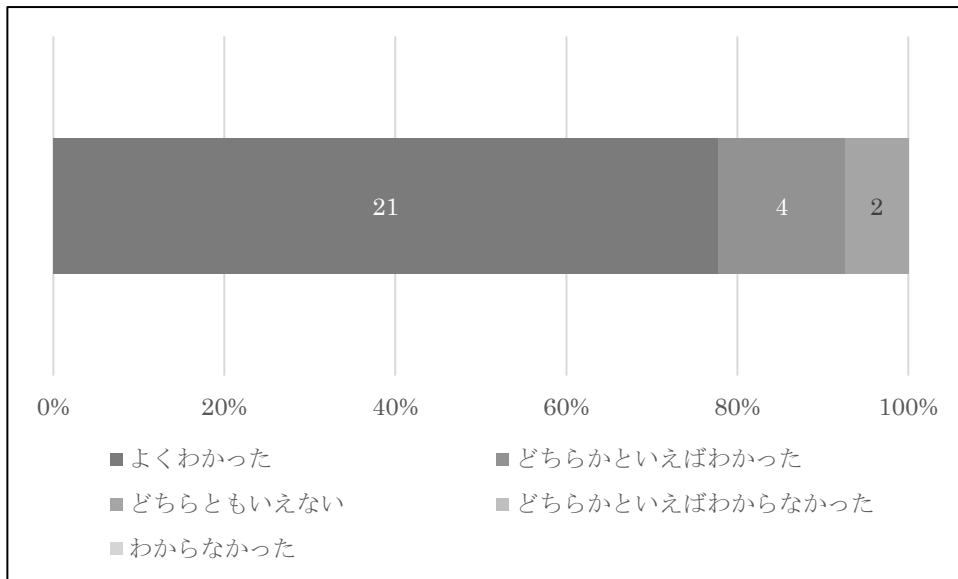


図 2-2 仕事知識

93%の生徒が、「わかった」「どちらかといえばわかった」と答えた。
高専連携職業講話による職務知識理解度は高い。

2.2.3 質問 「仕事に必要な資格や技術について理解ができましたか？」
（平均 4.8）

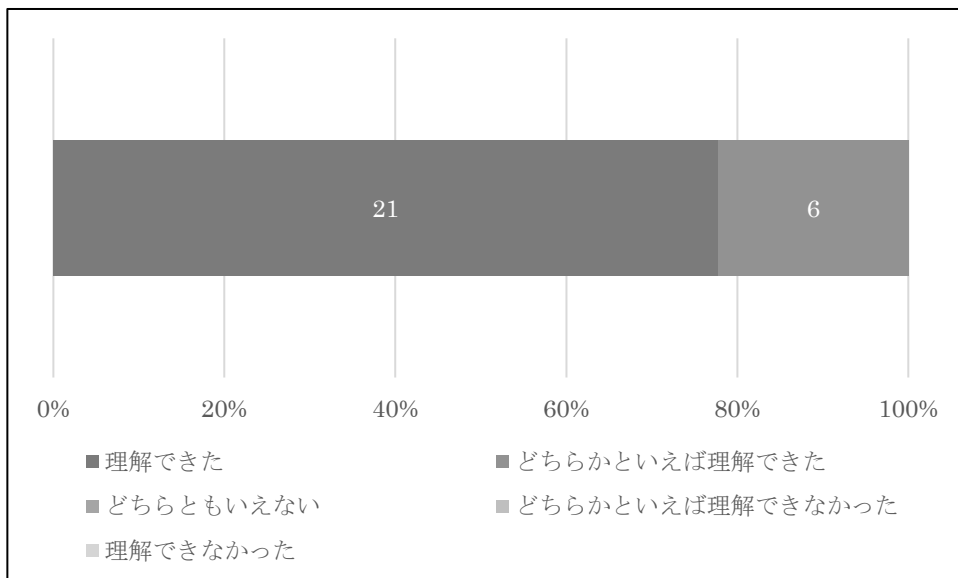


図 2-3 資格や技術理解

100%の生徒が、「理解できた」「どちらかといえば理解できた」と答えた。
高専連携職業講話による必要資格・技術理解度は非常に高い。

2.2.4 質問 「必要な知識や資格・技術の学び方がわかりましたか？」（平均 4.7）

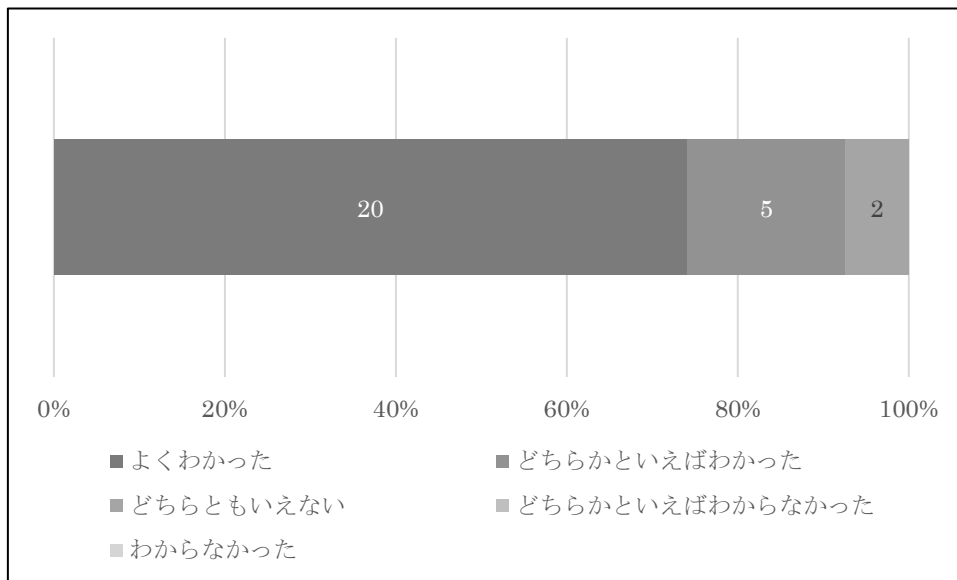


図 2-4 資格や技術学び方

93%の生徒が、「理解できた」「どちらかといえば理解できた」と答えた。

高専連携職業講話による知識、資格・技術の習得方法の理解度は高いが、他の指標と比較すると低く今後改善の余地がある。

2.2.5 質問 「特に印象に残ったことや初めて知ったことを、箇条書きで記入してください。」

※生徒の書いた原文を忠実に表現するため、誤字や文章の訂正・修正を行っていない。また、句読点の位置も原文のままにしている。

<p>日本では、「バイバイ」とか「OK」は普つうだけど他の国ではちがう意味になる</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・英語などの外国語が話せると、進路の選択がとても増える事が分かりました。 ・外国のマナーが分かりました。
<p>「英語＋中国語」のように「＋α」の力をつけること。</p> <p>あたりまえのことをきちんとする。</p> <p>いろんな人の話を聞く。</p> <p>一分一秒大切に</p>
<p>外国の侮辱する行動や失礼にあたる行為を初めて知ることができました。また自分にあった仕事の種類をなんとなくではあるが、見つけることができたので良かったです。</p>
<p>留学先の学校で日本語をしゃべったらダメ</p>
<p>色んな職務内容も沢山詳しく知ることができた。</p>
<p>本日の講話で、自分の性格に合った職業が、接客・サービスや、外資系企業を初めて知ることができたので、新たためて（原文ママ）将来について考えたいなと思いました。</p>

<p>他の国では失礼な事でも日本では当たり前や、逆に失礼じゃなかったりする事が分かりました。英語を使う仕事は観光以外にも外資系や通訳の仕事、様々な職業があり初めて聞いた職業もありました。</p>
<p>ギリシャでピースをすると相手をぶじょくするというのは初めて知りました。</p>
<p>留学先での様子、将来の道を選供（原文ママ）する際にどんな道があるのか知った。</p> <p>留学には約 270 万円ほど必要</p> <p>ほかの国で行ったらダメなマナーや動作など</p>
<p>英語や中国語などは、今必要とされていることが分かった。また、自分の好きなことで興味のあることから職業を考えるとよいことが分かった。語学を使う仕事には幅広い分野があって自分に合った職業も沢山あることが分かった。</p>
<p>グローバル化が進んでいて、海外の方と触れ合う機会が増えていることや、国のマナーなど知ることができた。</p>
<p>英語と+αで勉強をすれば（原文ママ）仕事のはばがとても広がるからこれからの将来と検定をがんばっていきたい。</p>
<p>ここでは大丈夫でも他の国では非常式（原文ママ）になってしまうこと</p>
<p>特に印象に残ったことは、カナダ旅行のたのしさでした。留学行きたい気持ちはあるけど、どんな感じか知らなかったので知ることができてよかった。</p>
<p>海外のマナーがこんなにあるのか少しびっくりしたのと、グローバルビジネスはこんなにも沢山の仕事があるんだなと思い興味がある仕事なども見つけられました。</p>

<p>世界のクイズをして、日本ではいい事が、他の国ではダメだったり、日本との違いが沢山分かりました。</p>
<p>留学の費用と外国のこと</p>
<p>初めて知ったことは、いろんな国のクイズで以外（原文ママ）な答えだったのでびっくりしました。</p>
<p>語学はコミュニケーションをとる手段。 海外の文化や習慣に対する理解が必要。</p>
<p>今後は中国語を話せる人が重要になってくること。 Q&A でいろいろな国のマナーを知ることが出来たのがうれしかったです。</p>
<p>今、英語の次に需要があるのは中国語だと初めて知りました</p>
<p>クイズの中で、国によって常識や相手を侮辱するサインなどが違っておもしろいなと思いました。</p>
<p>国によってあいさつや動作が違う 中国語が必要になってくる。</p>
<p>英語の次に中国語が必要だときづいた</p>
<p>日本ではじょうしきなことなのに海外の国ではひじょうしきなことがあったのでびっくりした。</p>

<p>先生方をリスペクトする</p> <p>どの学校が自分に向いているか学科コースの選択の仕方</p> <p>自己管理、国語力、経験、基礎学力</p> <p>いろんなことにチャレンジ</p>
<p>カナダ留学たのしそだった</p> <p>中国語がじゅうようになること初めて知った</p> <p>英語だけじゃなくて他の語学も勉強したい</p>
<p>自分自身に合う職業を見つけれるようになる。</p> <p>ギリシャでピースサインがダメなのを初めて知った。</p>
<p>英語関係の仕事いっぱいあると知った。</p> <p>自己管理や、国語力を高めること。</p>
<p>自分はじみちな作業がとても好きなので、自分には「事務スタッフ」が向いているんだと思った。でも就職通してコミュカもつきたい。</p> <p>留学に行くと300万近くもかかるんだとおどろいた。</p>
<p>語学留学を考える際に、どこの国に行くか、国の治安・雰囲気や、留学先の学校の選択・どこの国が自分に向いているか・ホームステイや寮等宿泊の選択、留学先の国で自分の能力・実力・コミュニケーションをためせるか、挑戦できるか等費用も考えながらもさくし選択していきたいなと思いました。</p>
<p>語学を勉強すれば就職が広がる</p>

2.2.6 質問 「本日の講話を聞いて、感じたことや思ったことを自由に書いてください。」

※生徒の書いた原文を忠実に表現するため、誤字や文章の訂正・修正を行っていない。また、句読点の位置も原文のままにしている。

<p>海外への留学が前からとっても楽しそうで憧れで、ほんとに留学した人の動画みて、やっぱり楽しそうだなって感じました。</p>
<p>外国語を使った色々な仕事がある事も分かったし自分の性格に合ったお仕事も見つけられそうで気になりました。</p>
<p>以前から留学や海外のことについて、とても興味を持っていたので、今回の講話を通して、学んだことがすごくありました。</p> <p>今まで中々自分で気がつかなかった、自己管理や基礎学力を見直して、これからの将来に役立てたいと思いました！</p>
<p>自分たちは中国語を習っていて習っているときにはなにに役立つのか分からなくなるけど、将来使えるとしたので頑張ろうと思いました。</p>
<p>留学にちょっとだけ興味が出ました。</p>
<p>沖縄には年間約 300 万人の外国人の方が来てくれると知り、英語など語学力を身につけないといけないと思いました。</p>
<p>今日の講話を聞いて、英語を使った仕事をしたいけどあまり自信が無い人にも事務などのお仕事があって今後の進路に活用したいです</p>
<p>本日の講話を通して、海外で働くために英語力とパソコンができることはとても大事だと思いました。</p>
<p>今回の講話を聞き、今の時代は英語がとても必要になっているので、仕事で使えるくらいに外国語をのばしておきたいです。</p>

高校のうちで、沢山資格をとったり、いろんなことに挑戦したり、しっかり通学などできるようにしたい。また、進路についても調べたりオープンキャンパスなどに参加していきたい。

海外は日本とは違うので、行く際はその国のマナーなど覚えてから行くようにしようと思いました。また、どの職業にも語学が必要だということが分かった。

もっともっと英語を使った仕事に興味があった。

いまからでもおそくないから勉強死ぬ気でがんばります。

他国とは全然、文化や風景全てがちがうんだなと改めて思いました。そういうところに、ひかれたので、留学や、他国と関われるようにもっと勉強をたくさんしようと思いました。

英語や中国語を生かした仕事がたくさんあるんだなと思いました。

外国の方と話してみたいと思いました。

普だん考えない自分の進路の事について沢山考えることができた。

知らなかった仕事の必要な資格や技術などとても沢山知ることができた。

本日の講話を聞いて、留学の様子などビデオを見て、街の様子だったり、学校のルールだったり、とてもたのしそうだなと思いました。

クイズをして、どこかの国では人につばをかけるのは、失礼にならなくて逆にあいさつだときいてびっくりしました。

高校生の時ですることを、今で頑張りたいたいと思いました。

今回の講話を聞いて、もっと語学について興味を持てたので、とても良い経験になりました。

グローバルビジネスのお仕事は、やっぱり大変そうだったけど、それ以上にとてもやりがいのありそうで楽しそうなお仕事だと思いました。

英語を使う職業はたくさんあるんだなぁと思いました。

「海外の文化や習慣」に対する理解力を深めると壁がなくなりやすいなと思いました。また英語や中国語を習得するのは大事だと思いました。

外国語を沢山学んで色々な国の方と関われるようになったらいいなと思いました。

検定などをチャレンジしていきたいです。

りゅうがくにいきたい気持ちが高くなった。

海外に行くときはちゃんと国のマナーについてしらべておく。

自分が将来何をやりたいのかずっと迷ってたけど、英語や音楽が好きで学びたいとは思っていたけど、あいまいですっとふわふわしていたのが今日聞いて、自分が興味をもっていることに将来つけたら、やりがいを感じるし、悔いのないように楽しめそうなので、日頃がんばれることをがんばりたいです。

英語苦手だから他の言語を勉強しようと思いました。

ペラペラしゃべれるようにがんばりたいです。

ずっと国際的な仕事に興味があるのでとても面白かったです。

留学をいきたいのもっとちゃんと知らべて対策をとろうと思いました。(原文ママ)

中国語やパソコン、将来に役立つために、検定などをがんばりたいです。国際系も興味もちました。

自分は英語力を生かした仕事といえば、空港系、ホテル系、教師系しかないと思っていませんでしたが、今回の講話で税関などあんなにたくさんの職種があったと知れました。

国によってやっては良い事だめな事や、日本でだめな事でも他の国では良いとされる事もあり、文化が違うのを理解して、分かってあげる事が大事だと思いました。

できる語学は勉強したい。もう少しやれる範囲も増えるから、できることを探す。

3 具志川商業高等学校 職業講話③

3.1 実施概要

日時 令和5年1月30日 11:30~12:30
 対象 沖縄県立具志川商業高等学校 リゾート観光科 2年生
 人数 34名
 講師 インターナショナルリゾートカレッジ 宮城 良之先生
 内容 那覇空港とグランドハンドリングの仕事。

3.2 生徒アンケート結果

3.2.1 質問「本日の講話を受けて、仕事の内容が理解できましたか？」（平均4.9）

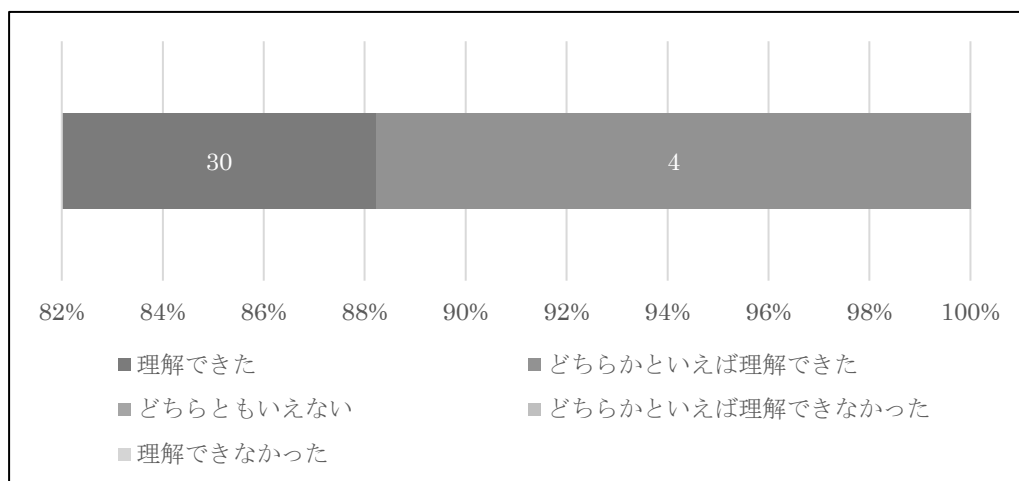


図 3-1 仕事理解

93%の生徒が、「理解できた」「どちらかといえば理解できた」と答えた。高専連携職業講話による職務内容理解度は非常に高い。

3.2.2 質問 「仕事に必要な知識がわかりましたか？」(平均 4.7)

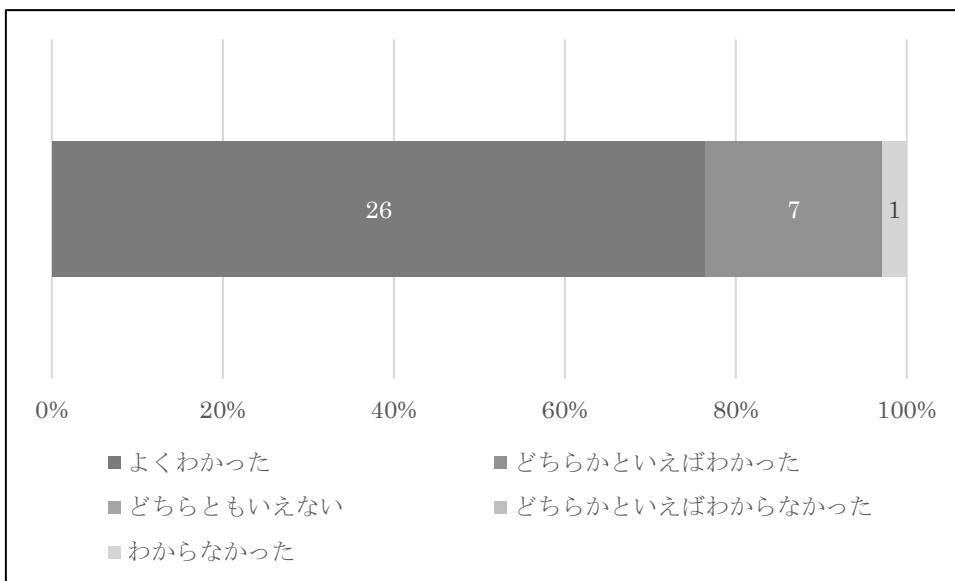


図 3-2 仕事知識

93%の生徒が、「わかった」「どちらかといえばわかった」と答えた。
高専連携職業講話による職務知識理解度は高い。

3.2.3 質問 「仕事に必要な資格や技術について理解ができましたか？」
(平均 4.8)

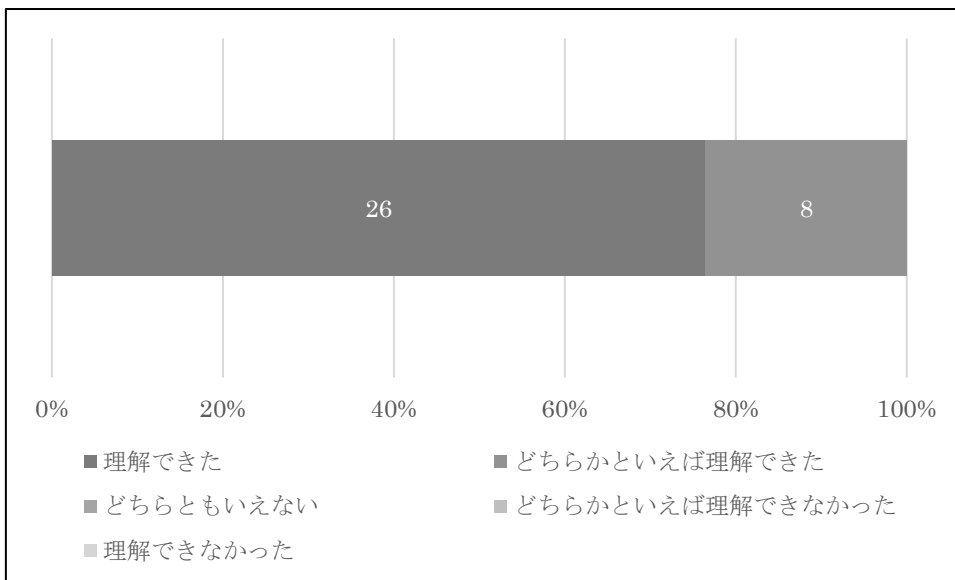


図 3-3 資格や技術理解

100%の生徒が、「理解できた」「どちらかといえば理解できた」と答えた。
高専連携職業講話による必要資格・技術理解度は非常に高い。

3.2.4 質問 「必要な知識や資格・技術の学び方がわかりましたか？」(平均 4.7)

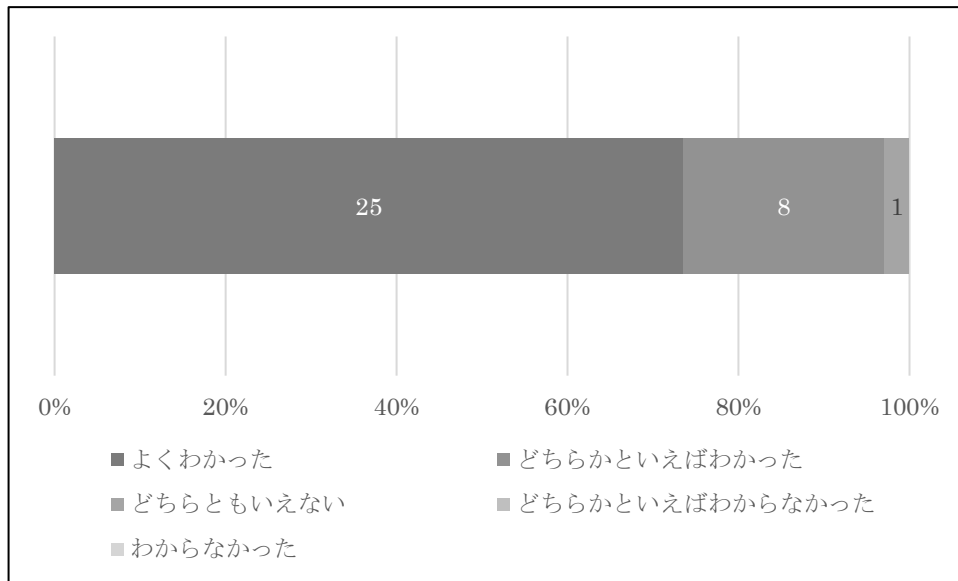


図 3-4 資格や技術学び方

93%の生徒が、「理解できた」「どちらかといえば理解できた」と答えた。

3.2.5 質問 「特に印象に残ったことや初めて知ったことを、箇条書きで記入してください。」

※生徒の書いた原文を忠実に表現するため、誤字や文章の訂正・修正を行っていない。また、句読点の位置も原文のままにしている。

<p>グランドハンドリングの使命 那覇空港のすごいところ 特殊な車両を使うことが多い</p>
<p>グランドハンドリングは、パイロットやキャビンアテンダントと違って影でお客様と一人ひとりのために 50 人もの人が作業している有難みを感じました。</p>
<p>女性でもグランドハンドリングになれる事や、私たちの裏側で支えてくれている人たちがいる事を知って CA やパイロット以外にも視野が広がりました。</p>
<p>今までは、CA かパイロット以外の仕事がこんなにあるって知らなかったのでびっくりしました。 また、ひこうきに、長さ 73.6m、高さ 18.4m、幅 64.8m ってすごい大きいと思いました。</p>
<p>航空会社の使命→安全性、定時性、快適性 那覇空港→アジア主要都市約 4 時間以内で行ける</p>
<p>1 番、目立つパイロットや CA さん以外にも、こんなに多くの方がはたらいているんだと思いました。</p>
<p>思っていた以上に、たくさんの作業があって、1 つの便が出るだけで、とても色んな人が働いて協力し合っていることに感動しました。初めて知ってびっくりしました。</p>
<p>沖縄の那覇空港は、アジア主要都市に 4 時間以内に行くことができ、滑走路が長く、24 時間運用可能ということが分かりました。 航空会社の使命は安全性、定時性、快適性</p>

<p>力仕事で女性だから出来ないとかじゃなくて、ビデオを見て、一生懸命がんばっていて、カッコいいなと思いました。50人くらいの人が、1機を飛ばすのに、沢山の役割をしていたので感謝しようと思いました。思っていたよりもグランドハンドリングの仕事は多くてびっくりしました。</p>
<p>私は、飛行機のお仕事がこんなにたくさんあることが初めて知りました。</p>
<p>グランドハンドリングは良く聞いたことがあるけど、こんなに仕事が多いとは思いませんでした。マーシャラーのイメージが強かったけど、多くの仕事があってとても興味深かったです。</p>
<p>那覇空港の位置は、日本でも良い位置にあることが分かった。また、航空会社の使命は、安全性、定時性、快適性の3つだということが分かった。他にも、アジア主要都市に4時間以内に行けたり、滑走路が長いことを知りました。</p>
<p>安全性、定時性、快適性 那覇空港は24時間利用できる</p>
<p>沖縄から東京まで約1,600km 航空会社の使命→安全性、定時性、快適性 那覇空港は24時間運用可能</p>
<p>私は最初、グランドハンドリングは、飛行機誘導と機内トイレの排せつ処理しかないと考えてました。けど思った以上にありました。男性のイメージだったけど、女子も活やくしててなんかカッコ良く見えました。空港に遊びに行く時は、飛行機関連の仕事をじっくり観察してみます！！</p>
<p>自分が思ったより一つ一つの仕事内容が大事で大切なんだと分かり、多くの知識が必要な事が分かった。</p>
<p>女の人もかつやくしている。那覇空港の滑走路が長い。いろんな資格がとれる。いっぱい仕事がある。Push Back</p>

<p>グランドハンドリングの仕事の中でも、7つくらいあり一番大変で仕事につくのが難しいのが特殊車両を使って押し出す作業になっていて、かなりの運転技術が必要な「ブッシュバック」という仕事だということを知ることができました。</p>
<p>一人一人のスタッフの方が「安全性・定時性・快適性」の思いを大切にお仕事をしていることが分かったことです。もちろん大事なことだけど、一人一人のスタッフの方が同じ思いでチームワークを大切にしていることが分かりました。</p>
<p>飛行機がバックできないこと。 なほ空こうが24時間運用可能であること。</p>
<p>グランドハンドリングのことがよくわかった。かかる年月などもわかることができた。</p>
<p>空港での仕事は、パイロットやCA、グランドスタッフとかのイメージが強かったけど、他にも、乗客に見えないところで、たくさん安全な飛行のために働いている人がいると知りました。</p>
<p>グランドハンドリング業務のくわしい仕事内容を知ることができた。 那覇空港のすごいところを3つ知ることができた。 グランドハンドリング業務をできるようにするための必須条件を知ることができた。</p>
<p>グランドハンドリングコースの人たちのおかげで、自分たちが安心して飛行機に乗れている事がわかった！</p>
<p>今日の講話の中で、空港の仕事は、CAやパイロットが主の仕事だと思っていたけど、グランドハンドリングというPBB業務や搭乗作業、マーシャリング、ブレーキマンなどとてもきびしい訓練やテスト、沢山の検定・知識が必要なんだなと知って、とてもびっくりしました。</p>
<p>飛行機を飛ばすために、4~50人のたくさんの人が支えて飛んでいることがとても印象に残りました。</p>

<p>航空会社の使命が安全性や定時性、快適性が分かった。</p>
<p>空港の中で働く仕事はもちろん、滑走路の所で仕事をするグランドハンドリングの人になる為にはたくさんの資格が必要になるという事を知りました。</p>
<p>パイロットや CA と違ってひこうきにお客さんをのせるまでのひこうきの整備などを完璧にして安全に見送るまでが仕事で見えない所で支えるかっこいい仕事だと思った。</p>
<p>今日の講話をきいて、特に印象に残ったことは、飛行機の出発時間です。</p>
<p>飛行機でのお仕事では、沢山の人がいて、色々な役割があることが初めてしりました。</p>
<p>なは空港は 24 時間運用可能ってことを初めて知った。 グランドハンドリングにもいろんな仕事がある。</p>
<p>グランドハンドリングは、パイロットやキャビンアテンダントと違って、影でお客様一人一人のために 50 人もの人が作業している。</p>
<p>那覇空港には滑走路が 2 つあるということを知りました。 2700m の滑走路が 2020 年に完成したということもはじめて知りました。</p>

3.2.6 質問 「本日の講話を聞いて、感じたことや思ったことを自由に書いてください。」

※生徒の書いた原文を忠実に表現するため、誤字や文章の訂正・修正を行っていない。また、句読点の位置も原文のままにしている。

<p>グランドハンドリングはチームワークを大切にする、とても良い職業だと感じました。そして、かっこいいと思いました。</p>
<p>グランドハンドリングに興味あったからネットで色々調べたけどいっぱいありすぎて分からなかった。今日くわしくきけてよかった。楽しそうだったから進学のこうほに入れておこうと思った。</p>
<p>女の人でも、沢山働いているのとてもかっこいいと思いました。今後、飛行機のったとき、バイバイしたいと思います。</p>
<p>ひこうきを安全にとびたたせてくれる、パイロット、CA、グランドハンドリングの人、グランドスタッフなど、色々な人が関わって安全に快適にすごせてるなーと思った。</p>
<p>航空会社の仕事は少し興味のある職業だったので、今日の講話でくわしい事を教えてもらって多くの職業があることを知りました。</p>
<p>影で支えている人がいっぱいいるんだなと思いました。</p>
<p>たくさんの業務があって、初めて知ったこともたくさんあって、女の人がグランドハンドリング業務をしているのがとてもかっこよくて興味をもちました。</p>
<p>1台の飛行機をとばすために、PBB 業務、マーシャリング、搭乗作業など、色んな人達、約 50 人の方たちがみんなで行っているときいて、とても大変できんちょうするけど、本当にやりがいのある仕事でいいなと思いました。</p>
<p>頑張ってくれてる人たちのおかげで乗れているので今度から窓から見えるときは手を振ろうと思った！</p>

<p>とっても分かりやすく楽しくグランドハンドリング業務について理解することができた</p>
<p>空港にはたくさんの業務があると知りびっくりしました。勉強になりました</p>
<p>こまかいとこまで知れた。かっこいいなと思った。</p>
<p>1つの飛行機が飛びたつのに、何十人の人がかかわっているのがすごいと思っし、かっこよかった。</p>
<p>私は元々すごく飛行機が大好きなのに、今日のこの講話を聞いて、より飛行機の話はもちろん、働いているスタッフの方にも、すごく興味がわきました。自分も、進路の一つの道として、考えてみて、ぜひチャレンジしてみたいし、やりがいや魅力をもって近くで感じてみたいと思いました！！</p>
<p>ひとつひとつの仕事が安全に快適に飛行機を飛ばすためにとっても必要だと思った。初めて知った仕事もいっぱいあったので、とっても興味がわいた。</p>
<p>講話や仕事内容などをみて聞いてとてもすごいお仕事なんだなと思い、空港にいったら今日知ったお仕事を見ようと思いました。</p>
<p>普段楽しみだけで乗っている飛行機には大勢の人達が関わっていると改めて感じた。ほとんどは簡単に出来るのかと思ったけど、その仕事につくまでにたくさんの知識と練習が必要だと知った時は、凄いなと思った。次回、乗る時は、ハンドリングさんに手ふってみます！！ね？</p>
<p>グランドハンドリング業務の仕事をもっと詳しく知ることができました。「ブッシュバック」という航空機が自走できる地点まで、特殊車両を使って押し出す作業があることが知らなかったです。</p>

<p>一つの便を4~50名の人が協力しているときいて、とてもびっくりしました。これから旅行の時とかは空港で働いている人達に感謝しながら楽しみたいです。</p>
<p>飛行機が出発するために、とてもたくさんの職業や人が関わっていてたくさんの仕事があることが分かった。 また、たくさんの資格が取得できたり、人を見送ることも新鮮で魅力的だと思った。</p>
<p>私はよく飛行機に乗るのですが、こんなに多くの仕事をあの短時間で作業していたのが本当にびっくりしました。いつも安全に私たちを色々な所へ送ってくれる皆さんには感謝しかありません。</p>
<p>飛行機のお仕事は、男性だけではなく女性も出来るんだと知りました。</p>
<p>飛行機に対する愛が無ければ、出来ない仕事だと思いました。研修旅行で空港に行くときは、いろいろ観察して、お仕事してくださっている方々に感謝の気持ちを持って楽しもうと思います。</p>
<p>飛行機の仕事は大変そうだと思っていたけど、やりがいがあって楽しそうだった。</p>
<p>とてもむずかしそうな作業でそれなのに皆、笑顔たくさんで、本当にステキでした。一番笑顔たくさんなことが印象に残りました。雰囲気も良く、明るく自分も幸せになれる気持ちになりました。</p>
<p>自分もあさって旅行に行くので、ちょうどいいなとおもいました。</p>
<p>グランドハンドリングはいろいろな業務があり、一つ一つの仕事がお客様の安全性や快適性がたもたれているんだなと思った。</p>
<p>沖縄から東京まで1,600kmあるのに、2時間で着くことができるひこうきはすごいなと思いました。たくさん空港を利用したいです。今日は、ありがとうございました。</p>

チームで協力して仕事をするという事はとても良いと思ったし、自分だと絶対気にしない所をプロの方は重視して安全性のある安心した旅行ができる事を改めて気付き感謝の気持ちでいっぱいになりました。

マーシャリング（航空機誘導）駐車場所に正確に誘導「パドル」を持つことできんちょう感を持つ事にやりがいを感じる。

私たちが利用している飛行機が安全に飛んでいるのもグランドハンドリングのおかげだということが分かりました。3月に空港を利用するので、今日の事を思い出して、注目してみようと思いました。

4 実証授業検討

第2回プログラム検討委員会で検討を行った。

- 職業意識がまだ低い生徒も多いと思い、画像や動画を増やしてイメージがしっかり付くようにした。導入部分で最新の業界情報を伝え、まずは興味を持ってもらえる内容を中心に進めた。
- 小那覇委員に職業に対する事前授業をやってもらった点が大きく、生徒が前のめりで話を聞いてくれ質問も活発だった点がよかった。
- 高校生の現在の様子が完全に把握できていなかったので「どのような人になりたいか」よりも「できそう、楽しそう」というイメージで職業を選ぶことが多いと思い、段階を踏んでイメージが作れるよう伝えた。苦労する点も知り、それでもこのような素敵な職業人になりたいと感じる授業になればよいと思った。
- 今後も小那覇委員と連携し、事前に生徒が知りたいことや質問を共有することでさらに良い授業ができると思う。先生たちとの連携を高め、より精度の高い内容にしていけると思う。
- 担当した語学と国際ビジネスという分野は幅が広い。職業の選択というより、自身の適性を知ることや、今学んでいることが必ず進路選択に繋がっていくということを意識して伝えるようにしている。田村委員と同様、動画を多くして、今回は留学している専門学校の学生が撮影した現地でのショートムービーを2～3本見せて実際の留学生生活を垣間見られるようにした。高校生たちの楽しんでいる様子が見られてよかった。
- 精度を上げるためには、事前に興味関心、質問などを絞り、伝えたいことを具体的にできれば良いと思う。
- 授業を見学していたが、前振りで田村委員は自身の経験を話して動画を流していた。動画プラス、人があいだに介在することで伝わりやすくなり、さらに動画が効果を上げていくのではと思った。
- 田村、新里両委員とも自身の経験をもとに動画やクイズを取り入れ、すごく生徒の意識を引く工夫をしていた。生徒たちも興味を持って聞いていた。

・田村委員の授業は自身の経験がすごく生きていて、なかには動画を見ながら感動して涙する生徒もいた。実際に現場で働いていた人も目の前にし、活発に質問が出ていた。関心を持っていたなという印象を受けた。新里委員の授業はクイズや実際に自分たちに年齢の近い専門学生の映像を見ることができた。実際に留学希望の生徒も多いのでイメージができてよかったと思う。

・どちらの授業も給与や休日など現実的な点を意識している生徒にとって、不安な点も質問でできたことがよかった。自分たちが教えるだけではなく、来てもらい話をしてもらおうメリットは非常に大きいと感じる。

・空港の業務はグランドスタッフなどお客様と直接関わるものと、駐機場にいる飛行機の荷物を取り扱うなど直接の関わりがあまりないグランドハンドリングなど2つの種類に分けられる。これらを1つの空港業務として話をしてよいか。

・5月に実施した専門学校の出前授業でグランドスタッフやキャビンアテンダントの話聞いた。1月はグランドハンドリングなど裏方の業務について話していただければと思う。

・グランドハンドリングはイメージが付きやすいと思う。クイズなどを取り入れ、充実した授業にしたい。空港で働くことについて、高校生のイメージやどう思っているかなども事前に知っておきたい。情報を交換しながら進めたい。

5 高校、観光関連企業の採用・教育・定着の実態情報交換

第2回プログラム検討委員会で情報交換を行った。

5.1 高校の現状

・今年度リゾート観光科では、観光系の専門学校への進学者3名。外語・国際ビジネス系で8名程度いる。就職者は3年ほど前までは学校全体で7～8名いた。今年は3名程度で内定者1名。もともと就職希望者は多くなかったが、さらに減っている感じはある。

・中学生の興味や関心について直接質問したことはないが、リゾート観光科への希望者は減っており定員割れとなっている。希望して入学する生徒は、将来観光系で就職したい気持ちは高いがそれが結びついているかは難しい状況。中学生を含め、生徒全体が不安を抱えている感じがある。

・もともと全体的に進学者が多く、就職は1/3。コロナ禍で観光系が打撃を受けていることを知り、接客業より事務系の希望者が増えている。最近是人と関わる仕事より、コンピュータ系を選ぶ傾向があるのではと感じる。この点は我々の課題でもある。

5.2 観光関連企業の情報

・この2年で旅行業全体の約3割が他業種に流出したデータが共用されている。マスコミによる観光業への不安がある報道などもあり、中途採用の求人を行っても応募者は低いのが現状。

・インターンシップなどを通じて地道にイメージを払拭している状況。高校生への実証授業と関連付けて企業側がどう連携するかなど地道にやっていきたい。

・専門学生はインターンシップと就職が直結することが多いが、中高生は興味のある生徒が来るのか？または学校側の割り当てで来ているかなど過去の事例などを教えてほしい。

・問い合わせも無い状況。

・高校生の場合は学校側から受け入れ人数の依頼が来るので、職業イメージは持っていない状態。社会人とはどのようなものか、という印象で来ている。

・ホテル業界では人材不足がはなはだしい。コロナ禍の影響で他業種への流出が一定の割合でいる。新規開店のホテルも続いており、少ないパイを取り合っている状態で非常に厳しい。

・部門によっても採用のしやすさに差がある。もともとレストラン部門は不足していたが、調理関係はまったくいない状況。オープンできず、止む無く定休日を設けている。売り上げはあっても人がいないので営業することができない現実がおこっている。逆に事務やIT系は多い。

・合同説明会でも観光部門のブースにはなかなか来てくれない。そもそも合同説明会自体にも人が来なくなっていると感じる。おそらく学生も「リモート慣れ」をしており、リモートですべてを決めている。これが接客離れも加速させているのではと感じる。

・キャリア教育の一環で小中校へ出向き、観光の魅力を伝えることを行っている。ある学校でコロナ禍により影響を受けた業界の調べ学習を行っていた。子どもたちへ知らず知らずの間に影響を与えているのではと感じた。魅力を伝えることを地道に行っていくしかないと思う。

・ブライダル業界でも今年のエントリー数はとくに減っている。求人企業からもホテル・ブライダル部門の求人はほぼゼロに近いと言われ、IT、金融、通信が多い。安定志向になっているという話があった。本格的に動きが見られ始める3月ごろに向け、意欲付けを行っている。

・弊社でもコロナショックが深刻な課題。大学や専門学生向けにアルバイトからブライダル分野に触れてもらうことに力を入れ、現在70名ほどのアルバイト生がいる。アルバイト生からエントリーへ繋げる流れを作っている状況。

・アルバイトを禁止している学校もあると思うが、高校生にもアルバイトという早い段階で就業体験をしてほしい。特にブライダル分野はホテルなどに比べて身近な存在ではないので、少しずつ結婚式の楽しさを知ってもらうなどから始めていきたいという考え、インターンシップよりアルバイトに力を入れている状況。

・今年アルバイト3名、インターンシップ2名の合計5名が内定した。

・弊社の実績や教育支援、育成方法などをアピールするほか、アルバイト生でも等級制度やインセンティブを付けて、アルバイト以上に企業という意識を持って働けるようにしている。

・空港でも人材の確保に苦戦。今年は8月から12月にかけて採用を行っているが例年に比べてだいぶ落ち込んでいる。離職率も3年目から上昇。コロナ禍で入職した人がこんなにも忙しいと想像していなかったというイメージの違いから退職してしまう。入社しても一定の割合で退職してしまっている。

・県内外で説明会を行っているが、ゼロのこともある。他と同様、苦勞している状況。人によって興味の差が大きい。空港見学希望などにはなるべく答えるようにして、将来弊社に入社するかどうかは関係なく、観光業界全体に興味を持ってもらえる取り組みを行っている。

・インターンシップは再開したいが、現場の体制が優先となるので受け入れできていない状況。高校生のアルバイト制度はなく、契約社員として採用している。

5.3 専門学校の状況

・本校の学生就職状況は、ほとんどが観光業界で内定率90%。例年に比べて進路変更者は少なかったと感じる。今年は観光関連の求人が多かったことや、学生たちも早めに就職活動に動いたことが理由ではないかと思う。

・去年の卒業生がコロナ禍の影響を大きく受けた。自分自身の将来を積極的に考えて行動していた点が効果として上げられると思う。また途中から航空業界が回復し始めたことで意識を再認識でき今年は90%以上が航空業界に就職。他業界へ就職した1名は、もともとその分野にも興味があり、そちらに進んだ。ここ数年、給与面より「働きがい」で就職を選んでいる学生が多い。

観光業界の魅力を伝え続けることに責任を感じながら進めている。

・昨年と大きく変わったと感じる点として、今年はある程度インターンシップを実施することができたこと。去年の卒業生はインターンシップを経験できなかったこともあり例年より他業種への就職が多かった。働きがいでの就職先を決めることが増えていることを考えると職業の魅力を伝えるほか、現場実習の重要性を感じた

・授業内で職業の楽しさを疑似体験できれば可能ではないか。期間をじっくり持ち、行うことで業界のさまざまな部分を知ることができる。期間や内容を企業と一緒に考えることでブレることのない学生の育成に繋がると思う。しかしインターンシップの経験が与える影響は大きい。

・就職媒体を使ってもなかなか集めることが難しいので、個別で対応するようにしている。その際に必ず「なぜ観光業界を希望したのか」「観光業界で就職することに不安はないか」「友人や両親からは応援されているか」などを聞くようにしている。反応を示す人は自信を持っていてブレない。

・以前に対応した学生から、いずれ観光業界は需要が戻るので両親からは応援されている。と言った子がいた。この点を踏まえると、高橋委員が言っていたように大人にも観光の魅力を伝える手段はないかと感じる。

・以前、入社式の様子をオンラインで発信し、保護者が視聴できるようにした。弊社の代表メッセージを直接伝えた。

・小学校でキャリア教育を行った際、その時間の一部が両親の参観日になっており非常に効果が高いと思った。これらを通じて、観光業界の魅力を直接伝えられる機会があればよいと思う。

・就職希望者の中には、親御さんが観光業界で働いていることもあった。背中を押してくれていると感じた。

・アフター・コロナを見据えている。東京で就職した卒業生の話によると、レストラン部門では人手がないため、人材を集約して「オープン店」「クローズ店」と日によって営業日を分けて対応。

・2024 年度向けの就職説明会がすでにスタート。年々早まっている傾向。1月～2月に企業による学内説明会を実施して、早期に人材を確保する流れになっている。

・インターンシップに関しては、今まで授業カリキュラムに入れていなかった。1ヶ月程の夏休みを利用して学校が紹介するインターンを自由参加にしていた。今年度からはアルバイト的にして個人で企業に申し込みをする方法にしている。

・インターンシップとは別に、大規模なディナーショーで現場実習ができる取り組みを実施。企業には交通費のみを負担してもらい、お客へのサービスを学生が行う内容。

第4部 令和4年度開発教材の総括と次年度方針

1 令和4年度開発教材の総括

第3回プログラム検討委員会で検討を行った。

1.1 「観光業の仕事」キャリア教育（テキスト・動画）教材

<3通りの使い方>

- ①生徒の予習・復習用、自学自習用として使用する
生徒に受講ノートと動画 URL を伝え自宅やPC教室で受講する
- ②授業で使用する
授業でPPTと生徒用受講ノートを使用する
- ③テキストを使用して授業する
指導書をもとにテキストを使用して授業をする

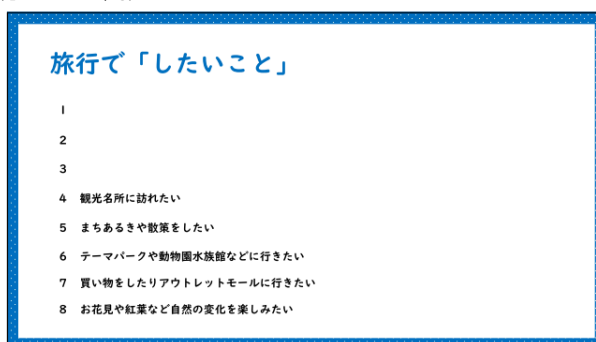
1.1.1 観光の仕事（動画視聴）

1.1.1.1 動画教材 36分10秒



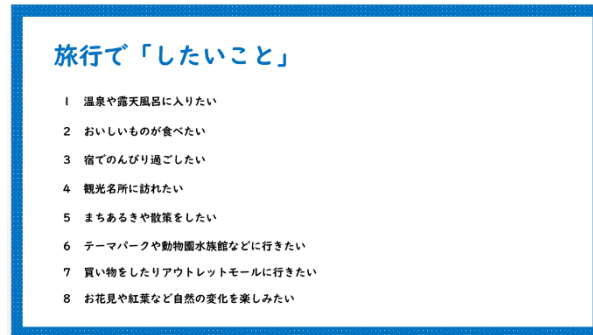
<https://youtu.be/hlyuwzOEPwg>

1.1.1.2 動画視聴ノート 視聴ノート例)



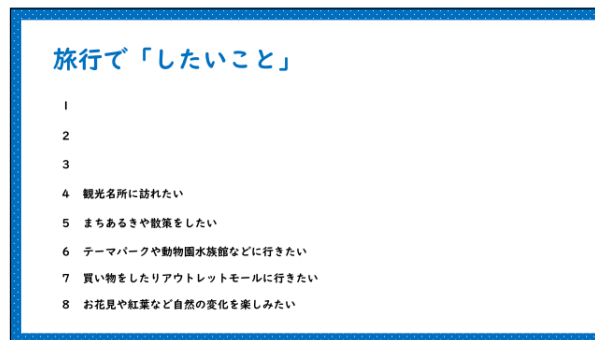
1.1.2 観光の仕事（PPT を使用して授業）

1.1.2.1 オフライン授業（対面授業）用 PPT



1.1.2.2 授業ノート

授業ノート例)



1.1.3 観光の仕事（テキストを使用して授業）

1.1.3.1 生徒用テキスト例

観光業とは

「観光」には様々な業種・職種の人関わっています。

みなさんが、旅行に行こうと考えて、実際に旅行に行って、帰るまでの行動をピックアップして、どんな会社や人が関わっているかみてみましょう。

航空・鉄道・バス・タクシー・レンタカーで出発
観光地で観光(飲食・買い物・施設利用)
ホテル・旅館などに宿泊
観光地で観光(飲食・買い物・施設利用)
航空・鉄道・バス・タクシー・レンタカーで帰宅

このようにみると、大きくわけて3つの業種関わっています。

旅行全体に関わる旅行業(旅行代理店・ツアーコンダクターなど)
移動に関わる運輸業(航空・空路サービス)
宿泊業(ホテル・旅館)

ここでは、この3つの業種を取り上げ、それぞれどのような仕事があるのかを学びます。

旅行系

①カウンターセールス



ます、仕事のイメージをつけるために、厚生労働省の「職業情報提供サイト(日本語版O-NEP)職業紹介動画」を視聴してください。
<https://youtu.be/zilw8SzniaU?list=ULGGQejaIXbEL8kyNDeyMjAyMs>

※この動画は厚生労働省が著作権を持っています。転載が許されたのみでの利用をします。

(出典:MEMO)

主な仕事 旅行会社での店頭業務

お客様の希望お客様の希望(目的地、移動手段、日程、予算、宿泊施設など)を聞き取る

パッケージツアーの場合はツアーのご案内をする。
手配旅行(視察・修学・職場旅行など)の場合は、見積もりを出す。

コンピュータや電話で、航空機や鉄道、宿泊施設の予約をする。

行程表・領収書・旅行保険など発行や手配きをする。

カウンターセールスとは、旅行会社のカウンターでお客様の要望に合ったツアーやプランを提案・販売する仕事をいい、内勤営業とも呼ばれています。「営業」というと、自ら客先に出向いて商品を販売するイメージがありますが、カウンターセールスは外回りではなく、カウンター越しに営業活動をおこなうのが大きな特徴です。

カウンターセールスの仕事内容は幅広く、旅行商品の提案や案内以外にも、申込書の作成や旅行の手配といった仕事も多くなります。「電話やサービスを売る」という営業的な側面と、「申込書の作成」などの事務的な側面を併せ持った仕事内容だといえるでしょう。

必須資格 特になし

あればよい資格 旅行業務取扱管理者、旅程管理主任者など

必要な素質や能力

- お客様のニーズや不安を読み取り、最適な情報を提供できる高いコミュニケーション力
- お客様に納得をしていただくためのプレゼンテーション能力
- 会社の顔としてお客様に接するマナー
- 常に新しい商品知識を深めていく努力ができる人
- 社内外とのコミュニケーションを円滑に取れるスキル

1.1.3.2 教員用指導テキスト例

教師用資料

(厚生労働省:jabtagより1次・2次データ引用 <https://shigoto.mhlw.go.jp/User>)

<仕事内容>

支店や営業所において、旅行の行程や価格などが既に決まっている「パッケージツアー」と、旅行者の希望や計画に合わせて手配する「手配旅行」を、お客のニーズに合わせてアドバイスしながら販売する。

旅行者のニーズが多様化、個性化しているため、パッケージなど旅行商品の内容や品質も変化している。旅行者の嗜好の変化を反映し、旅行会社でも斬新な旅の提供を模索している。

手配旅行では、お客の多くは視察旅行、修学旅行、職場旅行等であるが、最近ではより個別的な目的にあった旅行をしたいという客が増え、「手配旅行」の需要が大きくなっている。手配旅行では、旅行者はより多くの情報と専門的な知識を求めているので、旅行についての専門知識はもちろん、地理、歴史、文化、治安などの幅広い知識や最新情報をもってアドバイスをしていく必要がある。そして、予算に合わせてホテルや航空機を選択し、コンピュータ端末を使って航空機や鉄道のチケット、宿泊券などの予約・販売を行う。

<細かな仕事内容の実施率>

(実施率70%以上の仕事)

目的地、旅行手段、旅行の日程、予算、宿泊施設などについてのお客の希望を聞き取る。
コンピュータや電話によって、輸送機関や宿泊施設を予約する。
行程表の作成および発送をする。
電卓、コンピュータ、料金表を使用して、旅行の費用を計算し、見積もりを出す。

(実施率60%以上の仕事)

専用端末を操作し、交通機関のチケットを取得する。
パウチャーの作成および発送をする。
お客から旅行代金を受け取り、領収証を発行する。
旅行保険の手続きをする。
旅行情報を掲載したパンフレットや出版物をお客に提供する。

<就業するには>

入職にあたって、特に資格や学歴は必要とされないが、大手旅行会社では、専門学校・短大・大学卒業者が多い。また、「国内旅行業務取扱管理者」、「総合旅行業務取扱管理者」等の国家資格を取得すると仕事の幅が広がるため、これらの資格を取ることが旅行会社社員の目標ともなっている。海外旅行の需要もあり、外国語(特に英語)を身につけておいた方が有利である。旅行が好きであること、人と接することが好きな人、社交性や積極性を持ち合わせた人に向いている。

個人によるインターネットを利用した情報収集、宿、旅券等の検索、予約が普及する中、カウンター係もより深い知識や一般の人が知らない情報を求められる。お客の多様な注文や相談に対応できる接客能力や様々な情報からプランを組み立てられる力も必要である。対面サービスならではの安心感をお客に提供できることが重要となる。

<学歴(※実際に働いている人が多いという感じる学歴を表しています)>

大卒63.8%
 専門学校卒 26.1%
 短大卒 24.6%
 高卒15.9%

<労働条件の特徴>

旅行会社の営業所や支店は全国に分布しており、多くは人口の多い都市部にある。土日祝日はお客が多いため営業日とし、平日に休みをとる形で週休二日制としているところが多い。労働時間は店舗により異なるが旅行シーズン前には残業が続くケースもある。

<就業者データ>

なし

<就業形態(※実際に働いている人が多いという感じる就業形態を表しています)>

正規社員 77.4%

契約社員 16.1%

パート 12.9%

<仕事に必要なスキル(7段階評価)>

傾聴力 4.8

説明力 4.1

文章力 3.9

読解力 3.8

説得 3.7

対人援助サービス 3.5

1.2 「ブライダルの仕事」キャリア教育（テキスト・動画）教材

<3通りの使い方>

- ①生徒の予習・復習用、自学自習用として使用する
生徒に受講ノートと動画 URL を伝え自宅やPC教室で受講する
- ②授業で使用する
授業でPPTと生徒用受講ノートを使用する
- ③テキストを使用して授業する
指導書をもとにテキストを使用して授業をする

1.2.1 ブライダルの仕事（動画視聴）

1.2.1.1 動画教材 43分13秒



<https://youtu.be/lsUOxRveMDA>

1.2.1.2 動画視聴ノート

視聴ノート例)

ブライダルコーディネーター

主な仕事の流れ

- ① ()
ブライダルフェアなどで相談の来られたお客様から会場・内容・予算などのご希望を伺い、プランのご提案をして契約を結びます。
- ②式や披露宴の準備
3～4か月かけて準備をすすめます。披露宴のプランニング、衣装、招待状やお料理、引き出物などを決めていきます。
- ③当日
式や披露宴の進行がスムーズにいくよう取り仕切ります。会場が遠隔地の場合は、現地スタッフに引き継ぎます。

1.2.2 ブライダルの仕事（PPT を使用して授業）

1.2.2.1 オフライン授業（対面授業）用 PPT

ブライダルコーディネーター
こんな人に向いている

- ① 細かな心配りができる人
お客様や関係職種にていねいな心配りができる人
- ② 人と接することが好き
お客様の話をよく聞き、適切な対応し信頼を得ることができる人
- ③ 新郎新婦の気持ちに寄り添った提案ができる人
お客様のご要望に応えるプランを考える
- ④ 幸せを共有することに喜びを感じる人
新郎新婦と共に考え、共に喜べる人

1.2.2.2 授業ノート

授業ノート例)

ブライダルコーディネーター
こんな人に向いている

- ① () ができる人
お客様や関係職種にていねいな対応ができる人
- ② 人と接することが好き
お客様の話をよく聞き、適切な対応し信頼を得ることができる人
- ③ 新郎新婦の気持ちに寄り添った提案ができる人
お客様のご要望に応えるプランを考える
- ④ 幸せを () することに喜びを感じる人
新郎新婦と共に考え、共に喜べる人

1.2.3 ブライダルの仕事（テキストを使用して授業）

1.2.3.1 生徒用テキスト例

ブライダル業界

ブライダル業界は、様々な形態の企業があります。ここでは、結婚式・披露宴を計画する職種（ブライダルコーディネーター）と結婚式・披露宴を進行する職種（ホールスタッフ・アテンダー）を取り上げます。

①ブライダルコーディネーター



まず、仕事のイメージをつけるために、厚生労働省の「職業情報提供サイト（日本語版O-NET）職業紹介動画」を視聴してください。

<https://www.youtube.com/watch?v=wuFsdYzeIUw&list=TLGGf9WfdKD2GQwMzAxMjAyMw>

※この動画は厚生労働省が著作権を持っています。転載ができませんのでURLの紹介をします。

【仕事内容】 ホテルのブライダル部門や専門式場は結婚式・披露宴全体コーディネーターをします。式場をもたない企業や国内外のリゾート地に式場を持っている企業は、ブライダルプランと現地手配・調整のみを行っていることがあります。

- 新規顧客の獲得
ブライダルフェアなどで相談に来たお客様から会場・内容・予算などのご要望を聞き、プランの提案を行い契約する。
- 式や披露宴の準備
3～4か月かけて準備を進めます。式の流れ、披露宴のプランニング、衣装、招待状や料理、引き出物などを決めていきます。
- 当日の進行
式や披露宴がスムーズに進行するように取り仕切ります。会場を持たない場合やリゾート地に式場を持っている企業は、現地スタッフに引き継ぎます。

【必須資格】 なし

【推奨資格】 ウェディングプランナー資格など

【素養・能力】

お客様や関係職種とのコミュニケーションが得意な人
新郎新婦のイメージを現実につづける提案ができる人
お客様や関係職種にいない心配りができる人

1.2.3.2 教員用指導テキスト例

教師用資料

(厚生労働省:jabtagより1次・2次データ引用 <https://shigoto.mhlw.go.jp/User>)

https://youtu.be/wuFsdYzeIUw?list=TLGGf9W_fdKD2GQwMzAxMjAyMw

<仕事内容>

結婚式を予定しているお客に対して、挙式の相談にのり、企画・提案、費用の見積りを行う。予約を受けた後は、必要な段取り・手配を行い、挙式・披露宴が終わるまで必要な調整・進行管理を行う。

まず、お客の希望をよく聞いて、適切なプランを示し、わかりやすく説明する。お客に見積を示し、規約等をよく説明して予約(仮契約)を受ける。一定期間内に正式な契約(本契約)を結び、挙式・披露宴までの詳細について打ち合わせを行い、結婚式の進行、演出、装飾の企画・提案、見積書の作成、段取り・手配確認を行う。

挙式・披露宴当日は、受付のセッティングから衣装小物、美容着付、控室、席札、進行表、引き出物、両家紹介等の確認、司会、カメラマン、神官や牧師等との打合せ、ウエディングケーキ、食事、テーブルサービス、介添え・車の手配などに至るまで、約30～40項目にわたる調整と進行管理を行う。挙式・披露宴が終了したら、経費の精算を行い、お客に対して当日の報告をする。企業によっては初期接客から挙式・披露宴当日までのプロセスを同一人のスタッフが担当する。「ウエディングプランナー」、「ウエディングプロデューサー」と呼ばれることもある。

<細かな仕事内容の実施率>

(実施率80%以上の仕事)

客から結婚式や披露宴の日取りや内容の希望を聞き取る。

(実施率70%以上の仕事)

客と繰り返し打合わせを行い、結婚式や披露宴の必要事項を順次決定していく。

決定した結婚式と披露宴の内容に基づいて見積書を作成する。

見積書を客に提示し、契約内容を説明し、契約を結ぶ。

司会者やカメラマン、照明係や音楽係と事前に打ち合わせをする。

(実施率60%以上の仕事)

式場の予定を確認し、予約を入れる。

決定した内容について予約や発注をする。

i

(実施率50%以上の仕事)

結婚式当日、会場の飾り付けや、受付およびテーブルをセッティングする。

結婚式の列席者の案内や誘導をする。

新規顧客や式場見学者を呼び込むためのイベントを企画し、実施する。

<就業するには>

入職にあたって、特に学歴や資格は必要とされない。転職希望者や一般大学生等を対象とする、短期育成を行う民間のブライダル教育機関もある。

ブライダルビジネスは比較的高額な営業となるため、採用後に社内での育成に力を入れる企業が多い。一生に一度のめでたい儀式として高額の費用を支払、結婚式・披露宴を行うお客に対して、親切で気持ちの良い明るい対応が求められる。婚礼に係る知識とお客の話を理解する気働きのあるコミュニケーション、更には高度化・多様化するニーズに応える創造的な企画力・プレゼンテーション能力が必要とされる。

また、各種のクレーム、トラブル等が発生した時に、迅速に対処できるよう、社内のコミュニケーションをしっかりとっておくことや不測の事態等への危機管理マインドが求められる。

「ブライダルコーディネート技能士」を取得し、スキルアップする道もある。

<学歴(※実際に働いている人が多いという感じる学歴を表しています)>

専門学校卒	60.9%
大卒	45.3%
短大卒	17.2%
高卒	14.1%

<労働条件の特徴>

結婚式や披露宴は、結婚式場、ホテル、旅館、レストラン、公共施設、宗教関連施設に加え、ハウスウェディング、レジャー施設やスポーツ施設、船上、海外などで行われ多様化している。

業務は土日祝日等の休日に集中することから、休日は平日に交替で取ることが多い。また、婚礼当日は勤務時間が早朝から夜間に及ぶこともある。パートタイマーやアルバイト、派遣労働者として働いている人も多い。給与は、正規従業員は月給制、パート・アルバイトは時給制が一般的である。

婚礼当日の服装は、男性が略礼服や黒のスーツ、女性も礼装に近い制服を着用することが多い。

<就業者データ>

データなし

<就業形態(※実際に働いている人が多いという感じる就業形態を表しています)>

正規社員	76.2%
自営・フリーランス	9.5%
パート	7.9%
アルバイト	6.3%
契約社員	6.3%

<仕事に必要なスキル(7段階評価)>

傾聴力	4.9
説明力	4.5
他者の反応の理解	4.1
他者との調整	4.0
文章力	3.8
対人援助サービス	3.8
説得	3.8
交渉	3.7
指導	3.7
時間管理	3.7

1.2.4 コマシラバス

コマシラバス

学校		作成者	機関 秀人
学科		学年	前期/後期
領域		時間	50分
科目名	観光の仕事		第 〇〇日/全 〇〇回
科目目標			
コマ目標	観光の仕事の種類を知る		
評価方法	レポート提出で授業への取り組みを評価する		

学習段階		学生の学習活動	教員の指導・支援	評価の観点
導入 (5分)	注意喚起			
	学習目標の提示	観光業と仕事を知る	このコマの目標を話す(ホワイトボードに記載)	
	前提条件の確認(復習)			
展開 (35分)	新しい知識や事項の提示	旅行:カウンターセールス・ツアーコン・ツアーガイド・ツアープランナー・ツアーオペレーター 航空:キャビンアテンダント 空港:グラウンドスタッフ ホテル:フロント・ベルスタッフ・客室清掃・支配人	教師用資料を利用して、テキストに書いていないことをメモさせる	
	学習方法の提示(理解を促進する手法)	・職業紹介動画を視聴する ・虫食いを埋めていながら生徒が授業に参加しやすいようにする	虫食い箇所は重要な点であることを伝える	それぞれの仕事の違いを説明できる
	学習活動(学んだ事項の練習)			
まとめ (10分)	練習に対するフィードバック			
	評価		レポート(新しくわかったこと・全体の感想など)提出	
	学習内容の振り返りと次回の授業の予告			

コマシラバス

学校		作成者	横関 秀人
学科		学年	前期/後期
領域		時間	50分
科目名	ブライダルの仕事	第	回目/全 回
科目目標			
コマ目標	ブライダルの仕事の種類を知る		
評価方法	レポート提出で授業への取り組みを評価する		

学習段階	学生の学習活動	教員の指導・支援	評価の観点
導入 (5分)	注意喚起		
	学習目標の提示	ブライダル業と仕事を知る	このコマの目標を話す(ホワイトボードに記載)
	前提条件の確認(復習)		
情報提示 (35分)	新しい知識や事項の提示	ブライダルコーディネータ、ドレスコーディネーター、フラワーデザイナー、ヘアメイクメイクアップアーティスト	ブライダル業の全容と動向をメモさせる
	学習方法の提示(理解を促進する手法)	・職業紹介動画を視聴する ・ブライダルコーディネーターのインタビュー動画を視聴しヒアリングノートに記入する	相手に伝わる話し方(最初に結論、次に説明)、メモの取り方(重要ポイントの捉え方)、話を聞く姿勢を養う
	職業観について考える		
学習活動 (10分)	学んだ事項の練習		
	練習に対するフィードバック		
まとめ (10分)	評価		レポート(新しくわかったこと・働くこととは、全体の感想など)提出
	学習内容の振り返りと次回の授業の予告		

1.3 高校1・2年生対応 キャリアプランニング能力向上教材 「職業図鑑」

<3つの特徴>

- ① 職場見学・職業人講話聴講をすることなく、教室やオンラインで多くの職業を知ることができます。
- ② 勤労観・職業観を育成し、将来的設計を図りやすくします。
- ③ 自己の進路実現に向けた課題を理解し、学び、学校活動の意欲を高めめます。

<5つの職業>

航空：グランドスタッフ
 航空：グランドハンドリング
 ブライダル：ブライダルコーディネータ
 旅行会社：カウンターセールス部門
 ホテル：アクティビティ部門

●「職業図鑑 インタビュー動画」

キャリア教育の一環として様々な職業を「知る」ことを目的にしています。
 内容：対象となる職業の仕事内容やインタビューの職業観など
 特徴：職業のイメージが持てるように日常業務の様子を取り入れています
 評価：視聴後、感想シートを提出します

●「職業図鑑 ヒアリングシート」

話を聴き、「ポイントを的確に捉える力」の養成を目的にしています。
 内容：対象となる職業の仕事内容など
 特徴：動画をみてヒアリングシート中の（ ）にキーワードを書き込み
 ます。ヒアリングシートは、インタビュー内容の要約をしています。
 生徒のレベルに応じて先生が（ ）を付け加えることができます。
 評価：視聴後、感想シートを提出します。

中学2年：目的に応じて必要な情報に着目することができるかどうかをみる設問で最も誤答率が高く、自分の考えが伝わるように工夫して書く設問で無解答率が高くなる傾向が見られた。（沖縄県教育庁義務教育課 令和3年度 沖縄県学力到達度調査の結果より）

1.3.1 「職業図鑑」インタビュー動画

テーマ：「職業を知る」

インタビュー動画を視聴して、感想シートを提出する。

(ブライダルコーディネータ)



<https://youtu.be/MFyYVw9iHh4>

インタビューを受けている方の話し方、話す速さ、話す態度にも注意するよう伝えてください。インタビューが終わった後に感想を書いてもらいます。

インタビューをみた感想シート

●今日のインタビューで、「心に残ったこと」を書いてください。

●このインタビューを終えて、「見習おう」「気をつけよう」「やってみよう」と思ったことがありますか？もしあれば、「明日からやろう」ということを一つ書いてください。

毎日鏡をみて笑う。朝ご飯を必ず食べる。英語の授業の復習をする。などどんなことでもいいです。特に思いつかなければ、「特に思いつきません」と書いてください。

●インタビューに答えてくださった方の話し方、表情などについて気づいた点がありますか？（話しをする順番、話しをするスピードやトーン、話すときの表情など）

特になければ、「気づいた点はありません」と書いてください。

●インタビューで聞きたい質問があれば自由に書いてください。これからのインタビューの質問の参考にさせていただきます。なければ「特にありません」と書いてください。

●お話を聞きたい「仕事・職業」のリクエストがあれば、書いてください。なければ「特にありません」と書いてください。

1.3.2 「職業図鑑」ヒアリングシート

テーマ：「よく聴き、ポイントを抑える」

インタビュー動画を視聴しながらヒアリングシートを
完成させ、感想シートを提出する。

(ブライダルコーディネータ)



<https://youtu.be/N1x06S92gKU>

インタビューを受けている方の話し方、話す速さ、話す態度にも注意するよう
伝えてください。インタビューが終わった後に感想を書いてもらいます。

高校生のための仕事図鑑

No.3 ブライダルコーディネーター

ヒアリングシート

<使い方>

インタビュー動画を視聴して、シートの()内に入る言葉を書いてください。聞き取れなかったときは、繰り返し聞いてください。

Q1 この仕事に就こうと思ったきっかけは？

高校1年生の時に行った、()です。ブライダル業界が90%以上向いている結果でした。

Q2 一日の仕事の流れを教えてください

- ① お客様をお迎えします。
- ② お客様と挙式の当日の流れについて()をします。
- ③ お客様は挙式のお支度をされます。
- ④ お客様が挙式のお支度をされている間に、コーディネーターはカメラマン、美容スタッフ、パーティー担当などと最終確認します。
- ⑤ チャペルで記念撮影後、挙式を行います。
- ⑥ ビーチで記念撮影をします。
- ⑦ パーティー会場にご案内
- ⑧ パーティーが結びましたら、お荷物の最終確認をして()します。
- ⑨ 当日のお客様やゲストの方の様子を、打合せをしてきた()に報告します。

Q3 仕事をする上でこころがけていること

お客様と「()感」を合わせることで。
私たちにとって当たり前にならないように、「()」
やお客様の高まる「テンション感」に合わせて接客をするようにしています。

Q4 仕事をしていてつらかったことは

入社して1年目に思っていたより運動量が多かったことです。今は慣れて楽しく働いています。

Q5 仕事のやりがいは？

お客様の「()」「いい一日になりました」というお言葉をいただいたときにやりがいを感ずみます。

この仕事は、失敗が許されないので一日中気を張っています。お見送りのときはクタクタになっていますが、お客様から感謝のお言葉をいただくと、疲れも吹っ飛び、お客様のお手つだいができてよかったですとやりがいを感ずみます。

Q6 この仕事に就くための資格や免許はありますか

入社後に先輩からしっかり教えていただけるので特にありませんが、ひとつ挙げるとすると、()技能検定という国家資格があります。

Q7 この仕事はどんな人に向いている？

()がある人
明るくハッピーなことが好きな人
結婚式はたくさんの方がかかわってチームでつくりあげています。

Q8 仕事を通じて成長したこと

()能力です。
私は人見知りだったので最初は大変でしたが、ありのままの自分でお話ができるようになりました。

Q9 あなたにとって働くことは

()ものです。
一日の多くの時間を仕事に使うので、仕事が楽しくないと人生はつまらないと思います。今は毎日仕事が楽しいのでプライベートまで充実しています。

Q1 この仕事に就こうと思ったきっかけは？

高校1年生の時に行った、(適正検査)です。ブライダル業界が90%以上向いている結果でした。

Q2 一日の仕事の流れを教えてください

- ①お客様をお迎えします。
- ②お客様と挙式の当日の流れについて(最終確認)をします。
- ③お客様は挙式のお支度をされます。
- ④お客様が挙式のお支度をされている間にコーディネーターはカメラマン、美容スタッフ、パーティー担当などと最終確認します。
- ⑤チャペルで記念撮影後、挙式を行います。
- ⑥ビーチで記念撮影をします。
- ⑦パーティー会場にご案内
- ⑧パーティーが結びましたら、お荷物の最終確認をして(お見送り)します。
- ⑨当日のお客様やゲストの方の様子を、打合せをしてきた(ランナー)に報告します。

Q3 仕事をする上で心がけていること

お客様と「(テンション)感」を合わせることです。

私たちにとって当たり前にならないように、「(特別感)」やお客様の高まる「テンション感」に合わせて接客をするようにしています。

Q4 仕事をしていてつらかったことは

入社して1年目に思っていたより運動量が多かったことです。今は慣れて楽しく働いています。

Q5 仕事のやりがいは？

お客様の「(ありがとう)」「いい一日になりました」というお言葉をいただいたときにやりがいを感じます。

この仕事は、失敗が許されないので一日中気を張っています。お見送りのときはクタクタになっていますが、お客様から感謝のお言葉をいただくと、疲れも吹っ飛び、お客様のお手つだいができてよかったとやりがいを感じます。

Q6 この仕事に就くための資格や免許はありますか

入社後に先輩からしっかり教えていただけるので特にありませんが、ひとつ挙げるとすると、(ブライダルコーディネーター)技能検定という国家資格があります。

Q7 この仕事はどんな人に向いている？

(協調性)がある人

明るくハッピーなことが好きな人

結婚式はたくさんの方がかかわってチームでつくりあげています。

Q8 仕事を通じて成長したこと

(コミュニケーション)能力です。

私は人見知りだったので最初は大変でしたが、ありのままの自分でお話ができるようになりました。

Q9 あなたにとって働くことは

(人生を豊かにする)ものです。

一日の多くの時間を仕事に使うので、仕事を楽しめないと人生はつまらないと思います。今は毎日仕事があるのでプライベートまで充実しています。

インタビューをみた感想シート

●今日のインタビューで、「心に残ったこと」を書いてください。

●このインタビューを終えて、「見習おう」「気をつけよう」「やってみよう」と思ったことがありますか？もしあれば、「明日からやろう」ということを一つ書いてください。

毎日鏡をみて笑う。朝ご飯を必ず食べる。英語の授業の復習をする。などどんなことでもいいです。特に思いつかなければ、「特に思いつきません」と書いてください。

●インタビューに答えてくださった方の話し方、表情などについて気づいた点がありますか？（話しをする順番、話しをするスピードやトーン、話すときの表情など）

特になければ、「気づいた点はありません」と書いてください。

●インタビューで聞きたい質問があれば自由に書いてください。これからのインタビューの質問の参考にさせていただきます。なければ「特にありません」と書いてください。

●お話を聞きたい「仕事・職業」のリクエストがあれば、書いてください。なければ「特にありません」と書いてください。

1.3.3 キャリア教育効果測定用評価シート（職業イメージ変容調査）

前		年	コース	番	氏名	月	日
----------	--	---	-----	---	----	---	---

これから、仕事をしている方の仕事の内容や職業観についてインタビューをした動画、「職業図鑑」を視聴します。視聴前と後の皆さんの仕事に対するイメージの変化を調べるためにアンケートにご協力ください。

今日見る職業は、（ ）です。

1.どんな仕事をしているか、知っていますか？
（知っている・なんとなく知っている・知らない）

2.この仕事に対するイメージを思いつくままにお答えください。深く考えず、思いついたイメージに○をつけてください。思いつかない場合は、「どちらでもない」に○をつけてください。

例) 仕事が普通に「明るそう」と思った時、線が重なっているところに○をつける。

	大変思う	そう思う	どちらでもない	そう思わない	全く思わない
明るそうだ		⊕			

この仕事は、

大変思う	そう思う	どちらでもない	そう思わない	全く思わない
------	------	---------	--------	--------

楽しそうだ				
簡単そうだ				
体力が必要そうだ				
忙しそうだ				
給料が多そうだ				
休みが多そうだ				
歳を取っても働けそうだ				
やりがいがありそうだ				
人の役に立ちそうだ				
自分の能力を生かせそうだ				
専門的知識がいりそうだ				
将来性がありそうだ				
新しいものを作りそうだ				
マナーに厳しそうだ				
勉強が大変そうだ				

後

年 コース 番 氏名 月 日

職業図鑑を視聴して以下のアンケートに教えてください。

一日の仕事内容を、後輩に説明できますか？

よく説明できる	だいたい説明できる	少し説明できる	説明できない

この仕事で気をつけなければならないこと（大切なこと）を、後輩に説明できますか？

よく説明できる	だいたい説明できる	少し説明できる	説明できない

視聴後の仕事のイメージについて教えてください。

この仕事は、

大変思う そう思う どちらでもない そう思わない 全く思わない

楽しそうだ				
簡単そうだ				
体力が必要そうだ				
忙しそうだ				
給料が多そうだ				
休みが多そうだ				
歳を取っても働けそうだ				
やりがいがありそうだ				
人の役に立ちそうだ				
自分の能力を生かせそうだ				
専門的知識がいりそうだ				
将来性がありそうだ				
新しいものを作りそうだ				
マナーに厳しそうだ				
勉強が大変そうだ				

1.4 令和4年度開発教材検討

- テロップが入っているなど以前に比べわかりやすくなっており非常に良い。インタビューされる方の話し方や表情に注目させるなど普段自分たちが行っている授業とは異なる視点もあり、職業に対して憧れを抱かせると感じた。またワークシートも虫食いにすることでしっかり聞こうという意識につながるのが良いと思う。
- 変容調査では多くの質問に答えることで、生徒も今まで気づかなかった興味や関心に気づくのではないかと感じた。早く授業に取り入れてみたい。
- 小那覇委員同様、大変すばらしい教材だと感じる。モデルとなる先輩が出演しているので、業界に対して興味、きっかけになると思いうい教材である。
- 初めに観光業界全体を知り、次に具体的になっていくという流れでわかりやすく非常によい教材であると感じる。視聴後に実際に職場見学に行けば、より理解度が深まると思う。教材としては非常に有効。
 - 企業によっては、モノや職種の呼び方、オペレーションが変わってくると思う。いろいろな企業や専門学校に視聴してもらい追加できれば良いと思う。若い人たちに職業を知ってもらおう教材としては良いものができたと思う。
 - システム的に作られており、高校生が集中して視聴できる取り組みができており非常によい。
 - 高校での職業講話で重視している点は、働くことは楽しいというキラキラした現場の方の姿を見せることが大切であると思っている。先ほどの動画はインタビューが多い内容であった。完成版の動画には実際に働いている様子の映像も入っているのか？
 - 実際に働いている様子を撮影させてもらった企業は、大分入っている。「見る」を中心とした映像ではかなり入っているが、「聞く」というところではインタビューのみにしている。
 - 動画による情報は入りやすいと思う。全職種で楽しく働いている様子が見られれば、いろいろなものに興味を持てるのではと思う。
 - 各企業を論理的、客観的に理解することができていいと思った。視聴後の変容調査で可視化できる点がよい。これをきっかけに企業側では、より立体的に理解を深めた生徒がインターンシップや企業訪問で先輩から話を聞くことができ、さらに理解を深めることができると思った。

・動画にすることで、見返しや興味の持ったものをもう一度見るといった効果的な使い方もできて良いと思った。

・山城委員同様、動画という点は伝わりやすく非常に良いと思った。現代の若い世代は確実に動画の方がわかりやすいというのが圧倒なので、テキストと動画が一体化しているのは本当に良い。

・インタビューはあくまでも個人の感想で、業界全体の声ではない点が不安ではある。本音と建て前というか、こちらと現場の考えが異なるなど良くも悪くもプラスとマイナスの部分が見えるのではないか感じる。個人のフィルターを通してあるので客観性に不安が残る。同じ業種で複数あればより良いと思う。テキストは作りこまれていて良いと感じる。

・動画制作に応じた社員から、どう見られているか、どうあるべきかを見直すことができる良い機会になったという感想があった。普段、学生たちからの声を聞くと制服を着用している姿など表面的な憧れからといったものも多い。華やかな部分だけではなく大変なこともあるが、そこを乗り越えた先にやりがいを感じることができることを知ってもらえれば良いと思ったので、出演した社員には飾ることなく、自分の意見を思った通りに答えてほしいと伝えた。高校生がこの業界に興味を持ってもらえるきっかけになれば幸い。

2 令和5年度の取組みの指針

2.1 高校現場から

- 職業理解ガイダンスとして、引き続き講話は新2年生に向けて実施したいと考えている。以前の委員会で相談させてもらった企業見学をもっと入れていきたい。施設見学のほかジョブシャドウイングを通じて、実際に現場で働く先輩を見せてもらうことは企業から学校に来て話してもらえるものとは違うので取り入れてほしい。
- 専門学生との交流も取り入れたい。年齢の近い先輩から進路選択の話を聞くことで、選択の幅を広げることができると思う。
- インターンシップは次年度に向けて、具体的な時期としては7月、10月あたり。今年度の2月も実施できればいいとは考えている。
- 春頃からコロナ禍の制限に対し、ひと段落しそう。インターンシップが再開できれば良いと思う。企業のみなさまにはぜひ受け入れをお願いしたい。先日、県立高校の推薦倍率が公表された。観光系の学校は昨年度に比べ全体的に減少している点が気になる。せっかく良いプログラム制作を行っているので、次年度は具志川商業高での取り組みを通じて「こんなことが学べる」ということを中学校側に発信していきたい。先生たちの忙しさもわかるが、中学生に発信してもらえればと思う。
- 中学生での高校選びは、ある意味で初めての職業選択ではないかと考えると、外間委員の発言は重要であると思う。今回、文科省がこのプログラムを採択した理由として、中学校から企業までの四者間を繋ぐという点を評価してもらえたと考えている。我々も中学校に対し、観光業の魅力や観光に関する知識を具志川商業高で学べることを伝えることができればと思う。

2.2 企業と高校等の協力について

・コロナ禍により修学旅行の中止、行動の規制、空港やホテルの利用減少によって楽しい旅行の機会が減ってしまった。楽しい旅行を通じて、CAや空港スタッフ、ホテルスタッフなどに憧れるきっかけが減少したことが中高生の進路にも影響していると思う。あと数年は尾を引いてしまうと印象を受けている。観光系を目指す中学生が減っているとのことだったが、観光系を希望して進学した生徒が確実に観光分野で進学・就職できる仕組み作りも重要と思う。自分たちも観光分野への就職確立について改めて考えていきたい。

・高校時代のインターンシップを通じて本校へ入学した事例がある。高校と企業の連携は専門学校にとってもプラスになる。また企業から本校への入学を勧めたという出来事もあるので、連携という流れは非常に良い。

・企業として中高生に向けたプログラムの手伝いが出来ると思った事として、当社の若手社員が職業に関して客観的に話ができる準備を行い、学校など外部でのイベントに協力できないかと考えている。

・先ほどインターンシップやジョブシャドウイング、職場見学等の話があったが、我々もぜひ協力していきたい。時期的な話をすると、沖縄は7~8月はトップシーズンとなるのでこの時期での受け入れは難しい。10月~11月はインターンシップ、中学生の職場体験を受け入れている期間となるので時期的に良い。2月も比較的受け入れは可能であるが、プロ野球やサッカー選手などのスポーツキャンプが行われるのでホテルによっては難しいかもしれない。秋口、または6月頃での実施は非常に良い。プライダル分野は10~11月がトップシーズンになると思うので、そこはまた業種によって異なると思う。

・空港関係も高橋委員同様、7月からはかなり忙しい繁忙のシーズンに入っていくのでインターンシップやジョブシャドウイング等の受け入れは難しい。今後の採用、業界に興味を持ってもらうという点に関しては出来るだけ早く、多く受け入れたいという気持ちはあるので、出来るだけ調整を行いたいと思う。

・中学生に向けての話になるが、弊社では過去に小学校に出向き「航空教室」を行っていたので、そういった機会も設けられればと思う。去年、一昨年はコロナ禍で実施することができなかったが今後実施できるのであれば中学生を対象に出向いて、興味を持ってもらえるきっかけになれば良いと思う。

・数年前に実施した際は、動画等の教材もまだ浸透していなかったが、今回は委員会を通じて映像教材の効果について聞いていたので、OC用の映像などを高校生がより身近に感じられるよう再編集して準備を進めていきたい。

・高校現場のスケジュールもあると思うがこのような職業講話は7月～8月頃までに月1回程度のペースでまとめることができれば、その後に生徒の希望を聞いてインターンシップに繋げたり、職業講話の前に現場見学を実施するなど2年生までに「現場見学・職業講話・インターンシップ」という流れができて3年生での進路選択が明確にできるのではないかと思った。このようなスケジュール調整は可能か？

・職業講話は授業の中に週2単位として組み込んでいるので前半にまとめることは調整可能と思うが、その後のインターンシップや職場見学は細かな調整が必要なので今すぐには回答できない。講話をまとめることはできそう。

・3年生になるとどうしても焦りがでてしまうので、1～2年生で自身の職業イメージができると良いと思う。相談してもらえれば専門学校として協力させてもらいたい。

資料 アンケート用紙

教育プログラムアンケート（生徒用）*

本日の講義や講話の内容をよりよいものにしていくため、アンケートにご協力ください。なお、回答は無記名であり、みなさんの学習活動や成績評価などで不利になるようなことは一切ありません。

以下の質問に該当する番号に○をつけてください。

質問 1 本日の講話を受けて、（その職業の）仕事の内容が理解できましたか？【職務内容理解】

5	4	3	2	1
理解できた	どちらかといえば、 理解できた	どちらともいえない	どちらかというと、 理解できなかった	理解できなかった

質問 2 （その職業の）仕事に必要な知識がわかりましたか？【職務知識理解】

5	4	3	2	1
よくわかった	どちらかといえば、 わかった	どちらともいえない	どちらかというと、 わからなかった	わからなかった

質問 3 （その職業の）仕事に必要な資格や技術について理解ができましたか？【必要資格技術理解】

5	4	3	2	1
理解できた	どちらかといえば、 理解できた	どちらともいえない	どちらかというと、 理解できなかった	理解できなかった

質問 4 必要な知識や資格・技術の学び方がわかりましたか？【知識、資格・技術の習得方法理解】

5	4	3	2	1
よくわかった	どちらかといえば、 わかった	どちらともいえない	どちらかというと、 わからなかった	わからなかった

質問 5 本日の講話の中で、「特に印象に残ったこと」や「初めて知ったこと」を、箇条書きで記入してください。

質問 6 本日の講話を聞いて、感じたことや思ったことを自由に書いてください。

プログラム評価委員（授業参観者）用 学習プログラムアンケート

委員名 _____

この教育プログラムを学習者・教員にとってよりよいものにしていくため、講義・実習で使用した先端技術などについての教育プログラムアンケートにご協力ください。なお、本アンケートは実証授業報告書の定量評価分析に使用します。

質問1 本日の講義・実習を受講すると、生徒の職務内容の理解度は向上すると思いますか？（職務内容理解）

5	4	3	2	1
向上する	どちらかといえば、 向上する	どちらともいえない	どちらかというと、 向上しない	向上しない

質問2 本日の講義・実習を受講すると、生徒の職業に対する意識は向上すると思いますか？（職業意識評価）

5	4	3	2	1
向上する	どちらかといえば、 向上する	どちらともいえない	どちらかというと、 向上しない	向上しない

質問3 本日の講義・実習は、高校教員の負担はどう変化すると思われますか？（高校教員の負荷評価）

5	4	3	2	1
負担は軽減する	どちらかといえば、 負担は軽減する	どちらともいえない	どちらかというと、 負担は増える	負担は増える

質問4 本日の講義・実習の、教育効果（生徒の受講前後の変化）を評価してください。（教育効果）

5	4	3	2	1
教育効果は高い	どちらかといえば、 教育効果は高い	どちらともいえない	どちらかというと、 教育効果は低い	教育効果は低い

実証授業コマシラバス

コマシラバス

学校	専修学校インターナショナルリゾートカレッジ	作成者	新里玲子
学科	グローバルビジネス科	学年	2 前期/後期
領域		時間	60 分
科目名	職業講話 (語学・留学のお仕事)	第 回目/全 回	
科目目標	語学・留学を活かした職業について理解する		
コマ目標			
評価方法	アンケート実施		

学習段階	生徒	教員	評価の観点
導入 (10)分	注意喚起	・教員からの質問に答える・挙手する	・現在学習中の外国語の確認(英語・中国語) ・外国語への関心度を確認(挙手)
	学習目標の提示	さまざまな業界に数多くある語学力を活かせる仕事について	スライドをメインに授業展開を行う どんな仕事があるか? 数多く仕事がある理由
	前提条件の確認		
展開 (40)分	新しい知識や事項の提示	自分の性格を知り、職業による適性を知る。	スライドをメインに説明展開 各項目をクラスに問いかける 3つ以上あてはまる人は?
	学習方法の提示 (理解を促進する手法)	スライドや動画を視聴する	英語を活かせる仕事に就くためのポイント説明 ●留学について学生の体験動画約1分×2
	学んだ事項の練習	●クイズに挙手で答える	外国人とのコミュニケーションには異文化理解力も必要 ●国際理解クイズ(10問)
	練習に対するフィードバック		進路決定の流れを説明 ・ゴール=仕事 ・専門・大学の違い
まとめ (10)分	評価		
	学習内容の振り返りと次回の授業の予告	日々の生活が進路決定にも響いてくることを知る	進路選択で大事な事 高校時代でやっておいたほうがいいこと Q&A

授業資料



他にもたくさんあります！

整えること

エステでマッサージ

お花屋さんもあるよ

温泉に入ることができる

では、ホテルのお仕事って何があるだろう？



ドアマンのお仕事 ホテルの顔
～ ようこそホテルへ！～



ベルマンのお仕事
(ベルボーイやページボーイと呼ばれる場合もある)

ドアの向こうは楽園が待っています。



コンシェルジュのお仕事



ホテルは広いけど大丈夫！迷うことはありません！
私があなたのリフレッシュのアドバイスを致します。

レストランのお仕事



ハウスキーピングのお仕事
清潔感のあることと快適な環境、It's my job!



その他のお仕事

1. 宴会部/宴会セールス、宴会サービス、宴会予約課
2. 企画部/広報課、企画課、マーケティング課
3. 営業部/営業課、販売促進課
4. 総務部/総務課
5. 経理部/経理課、研修課、人事厚生課
6. 施設管理部/資材管理課、機械保安課
7. 購買部/材料管理課、材料準備課、設備管理課

ホテルは街、ホテル内は夢ある仕事に溢れています！



ホテルの仕事のやりがい

- ①かっこいい接客のプロになれる！
- ②お客様からの「ありがとう」を仕事にできる！
- ③自分自身が成長できる！



必要資質と検定

必要資質

- ①人を喜ばすことが好きな人
- ②人と話す事が好きな人
- ③チームワークが好きな人
- ④沖縄が好きの人

検定

- ・国家検定
- ・HCSホテルレスポンスサービス
- ・検定検定 3級
- ・ホテル実務検定
- ・PCスキル (エクセル・ワード)
- ・語学スキル



A screenshot of a hotel website's calendar interface. The calendar shows dates from 10/1 to 10/31. Each date has a price listed, such as 10/1 for 1124,200 and 10/2 for 1071,000. The interface includes a search bar at the top and a navigation menu.

ウェディングプランナー

A photograph showing a wedding planner (a woman in a black top) sitting at a table with a bride and groom, discussing wedding plans.

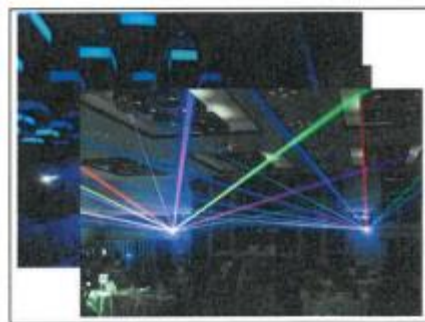
お二人の要望を聞いて、どうすれば理想の結婚式になるのかをプロとしてアドバイス。手配もすべて行います！

ドレススタイリスト

A photograph of a rack of various wedding dresses in different colors and styles, including white, orange, and yellow.

結婚式の当日、世界で一番美しい花嫁になるために、パーソナルカラーや体系などいろんな角度からアドバイスを行っていきます。





ブライダルの特徴は

- 1.高額商品
- 2.未体験商品
- 3.消滅商品

という特徴があります。
それに加え、心を込めて1件1件に対応することが大切です。



ブライダルの仕事のやりがい

- ①人に感謝される！
- ②お客様の喜びを仕事にできる！
- ③自分自身が成長できる！
- ④流行の最前線で仕事ができる！
- ⑤平日のお休みが多い！

おまけ・・・
給料が高い！



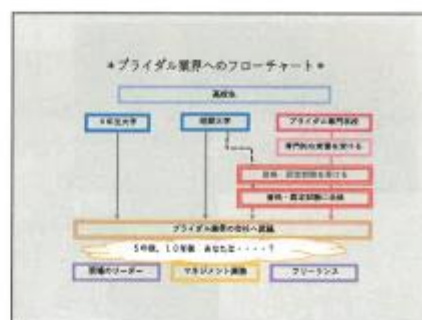
必要資質と検定

※必要資質※

- ①人を喜ばすことが好きな人
- ②人と話す事が好きな人
- ③おしゃれが好きな人
- ④冲縄が好きな人
- ⑤働くことが好きな人

※検定※

- ・国家検定 1級～3級
- ・ブライダルコーディネーター技能検定
- ・ドレスコーディネーター
- ・PCスキル (エクセル・ワード)
- ・秘書検定
- ・語学スキル
- その他 カラーコーディネーター等



問題です！

皆さん
人生の『通過儀礼』という言葉を知っていますか？

『通過儀礼』とは

出生、成人、結婚、死など
人間が成長していく過程で、
次なる段階の期間に新しい意味を
付与する儀礼。人生儀礼ともいう。

結婚式は・・・

新郎新婦にとっては一生に一度の
晴れ舞台です。

結婚式は・・・

そして、新しい人生の出発に
意味をもたらせてくれる
大切な儀式です。



結婚式には・・・
新郎新婦の幸せと

そこに参加してくれた
すべての人たちの

笑顔と感動が
あふれてる
素敵なお仕事です

議事録

第1回プログラム検討委員会	110
第2回プログラム検討委員会	114
第3回プログラム検討委員会	119

文部科学省事業 令和4年度「専修学校による地域産業中核の人材養成事業」 第1回 プログラム検討委員会 議事録	
開催日時	2022年 8月26日(金) 15:00~17:00
会場並びに開催方法	ZOOM 利用によるリモート方式にて開催
出席者	<p>(プログラム検討委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・沖縄県教育庁 県立学校教育課 産業教育班 指導主事 外間 勝 ・沖縄県立具志川商業高等学校 教諭 小那覇 千栄子 ・学校法人 静岡理工科大学 静岡インターナショナル・エア・リゾート専門学校 教務課長 立石 公平 ・学校法人KBC学園 インターナショナルリゾートカレッジ 教務部長 近藤 賢宏 ・教務課長 新里 玲子 ・教務課長 宮城 良之 ・教務課長 吉原 亜矢子 ・株式会社国際旅行社 取締役総務部長 山城 秀康 ・沖縄ワタバウェディング株式会社 人事総務グループ 人材開発チーム マネージャー 内間 ゆり絵 ・学校法人KBC学園 地域創生室 支援部 部長 仲宗根 真 ・課長 喜納 政一 <p>(教材制作)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・株式会社 穴吹カレッジサービス 広原 敬幸 <p>(議事録作成)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校法人KBC学園 地域創生室 支援部 喜納 政一
議題	<p>議 事</p> <p>議題1 令和4年度事業計画説明</p> <p>議題2 令和4年度教材開発について</p> <p>議題3 令和4年度実証授業について</p>
配布資料	<p>配布資料</p> <p>資料① プログラム検討委員名簿</p> <p>資料② 令和3年度事業計画書</p> <p>資料③ キャリアプランニング能力向上教材(職業インタビュー試聴用)</p> <p>資料④ キャリアプランニング能力向上教材(職業インタビューシート記入用)</p>
会議概要	<p>仲宗根よりスケジュール、配布資料の確認後、近藤が挨拶。次に仲宗根より委員を紹介し、議題1 令和4年度事業計画説明を説明。休憩後、議題2 教材開発について広原氏より説明。その後、委員に教材の体験してもらい、意見、感想を承る。議題3では仲宗根より実証授業、今後の予定を説明。最後に近藤の挨拶にて終了。</p>
目次	<p>議題1：令和4年度事業計画説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料②を使い仲宗根が説明 意見、質問等 <p>(山城委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・離職率の抽出方法について知りたい。 <p>(仲宗根)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就職課 細谷委員が卒業生の就職先へヒアリングを行った情報を元に算出した。しかし、すべてを把握できていない部分があると思われる。 <p>議題2：令和4年度教材開発について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料④を使い、広原氏より説明 意見、要望、期待等 <p>(外間委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・記入シートに「ベルアテンダントの一日の仕事内容を後輩に説明できるか？」という質問があるが、資料③では一日の仕事の流れについて触れていたが資料④の動画にはなかったためこの質問に答えることは難しいと思った。 <p>(広原氏)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・失礼しました。配布資料の差し替えミスです。正しい資料を仲宗根より再度送ります。 <p>(新里委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ホテルスタッフ」というと、さまざまなセクションがあると思う。「ベルアテン

ダント」に絞って特化する方と大雑把に大きく「ホテルスタッフ」という形にして高校生に伝える方法とどちらが良いか疑問に湧いた。先ほど見た動画内容は、前半はホテルスタッフとしてのインタビューだったのではと感じたのでベルアテンダントという細かい仕事に即した内容と不整合が発生すると思う。

(広原氏)

・資料③の動画はすべての内容が入っているベルアテンダント用になっており、資料④は模擬的に短縮して作成している。フロントなどさまざまな業務があるので、それらも合わせて撮影していく。またホテル業務全体を見て、そこから細かく業種を見ることができるイメージ。まず旅行業全体を見て、次に営業の仕事について、航空の仕事についてといった細かい役割を知ることができる内容にしたいと思っている。

(仲宗根)

・今回の教材は、高校の先生に授業で活用してもらいたいと考えて作っている。すでにホテルに就職したいと考えている層に向けた細かな内容と、何となく観光業に就職したいと思っている層に向けた広い範囲の内容での話も入れていくかは、考えていく必要があると思う。今後、実証授業を進めながら具志川商業高の小那覇委員の意見も伺い、必要なラインナップを含めて検討していきたい。

(小那覇委員)

・インターネットでの調べ学習や職業講話などを取り入れて、学校でも職業の説明は普段から心がけて行っているが限られた業種しかできていない。

・このような動画を見ながらメモをまとめていくものは、ベルアテンダント以外の業種でもできるととてもいい教材になると思う。教科書ではなかなか調べることができないことが教材としてあると非常に学校としては有難く、助かる。

(仲宗根)

・動画のスピードなどは実際に体験してみてどうだったか？

(小那覇)

・動画と質問が一致しており、生徒たちもまとめられると思う。しかし生徒によって注力して聞きたい所が異なるので、次の質問を聞き逃してしまうこともあるかもしれない。その場合は巻き戻してもう一度聞くなど自分たちで工夫してカバーすることができると思う。

(外間)

・インタビューの合間や背景でも構わないので、実際に働いている様子や動きが見えるのもっとイメージがしやすくなると思う。言葉だけではなかなか想像することができない子もいるので、動きのある場面も見られると良いのでは。

・インタビューで答えの後に理由を述べていた。社会人としての話し方を気づかせる質問等もあるとこれらの範囲も学ぶことができると思うので検討してもらいたい。

(立石委員)

・資料④の動画を見る前に資料③の全体動画を見るのであれば、有効的と感じた。今日は記入用の動画視聴だったので、まとめる方に集中してしまい、理解までは少し届かなかった。また自分自身がベルアテンダントに従事していたので、ある程度答えが推測できたこともスムーズな解答に繋がったのではと感じた。

・インタビューで仕事の経験を11年目と答えていた。目標の1つである3年以内の離職率低下やインタビューで一番つらかった時期が3年目と答えていた点を考えると、高校生に年代が近い、経験5年目程度の人に対してつらかった時期の乗り越え方などを質問して入れてはどうか。また憧れを抱かせることができる年齢の近い世代の方が、職業に対する意欲にもつながるのではないかと思った。

・聞いた話をまとめて伝えられるスキルは良いことなので、いいトレーニングになると思った。

(仲宗根)

・さまざまな効果を求めて欲張ってしまっている点があると感じたので、整理して目的別に教材を組み立てていきたいと思う。

(山城)

・外間委員、立石委員の意見は良いと思った。うまく取り入れることができると、さらに良くなるのではないか。

・必要な資格に関する部分があったが、取得に向けていつ頃からどの様なことを行ったか、進学先の決め方などの質問もあると良いのでは。

(仲宗根)

・高校生にとってその後の具体的な進路選びなど職業に直結するので、組み込めるように検討します。

(内間委員)

・今の若い世代は文字より映像から情報を得ることに慣れていて、映像教材は若い世代に合っており良いと思った。

- ・インタビューに集中して聴く質問と、それとは別のまとめに使える質問とが分かれている点がメモに集中し過ぎないので良い。メモを記入するためのストップ時間が長いと、前半の部分を忘れてしまうので、適度に短くして最後にまとめる時間を調整してもいいかもしれないと思った。
- (仲宗根)
- ・質問内容が重複せず、1つの質問に対し1つの答えになるよう書きやすさを考えたい。
- ・今後、山城委員、内間委員には企業で働く先輩インタビュー動画撮影を依頼するかもしれない。その際は協力して頂きたい。
- (新里)
- ・今回、各委員から出た意見を集約してさらに良い教材制作に活かしてほしい。動画教材は高校生にとって良い教材ツールだと思う。
- (宮城委員)
- ・視聴しやすい配慮が随所に見られる動画で素晴らしいと感じた。動画視聴からインプットした情報を後輩に説明するアウトプットを行う目的、自身の職業観を育てるなど、仲宗根氏は「欲張りすぎた」といっていたが、素晴らしいと思う。
- ・BGMも滑らかなリズムで適度なプレッシャー感があり、よい選曲だった。
- (吉原委員)
- ・働いている様子が動画で視聴できるという点が一番良いと思った。コロナ禍の影響でインターンシップをなかなか受け入れてもらえない状況が続いている。言葉だけでなく、映像で見ることができると全然印象が違うと思う。
- ・航空会社は制限区域が多く、実際のインターンシップでも立ち入れない所が多々ある。それらを映像で、しかも教材としてあると職業の魅力をもっと伝えることができると思う。
- (田村委員)
- ・高校生に職業講話を行う際、魅力を感じて理解してもらいたいと考えている。インタビューを受ける人や企業がその点を意識しているかによって、話す内容が変わってくると思う。高校生が職業のどの点に魅力を感じるのか、企業がアピールしたい点、専門学校の教員が魅力として伝えられる点を双方向で確認したうえで動画制作を進めないと、高校生へ魅力が伝わる内容にならないと思う。
- ・この動画を視聴した高校生たちが就職するのは3～4年後になる。今と求められるスキルが変わっているかもしれない。人事担当より勉強しておいてほしいこと、業界で求められるものなどを事前にアドバイスできるものが入っていると、さらに高校生が目指す職業に対し明確な気持ちとなり企業も魅力を十二分に伝えることができると思えながら視聴していた。
- ・職業の魅力をもっと伝えたいと思っている人も多いので、企業、高校、専門学校が双方向になることでさらによい教材を作ることができると感じる。
- (仲宗根)
- ・教材を通して職業への理解、魅力を伝えたいと思っている。動画だけではなく、実際に講話を行うなどハイブリットな形式にすることも大切であると感じた。内容として検討していきたい。
- (近藤委員)
- ・自身がこの教材を使い授業を行うことを想定した場合、理解を深めるためワーク記入後に隣とペアになり説明しあい、自身が得られなかった新しい情報を追記していけるようにすればさらに活用の幅が広がるのではないかと考えた。
- (仲宗根)
- ・理解を深めるため「聞く」「伝える」「共有する」という点を複合的にできるとさらに良い内容になると思うので、その点を踏まえて今後も検討していきたい。
- (広原氏)
- ・教材を視聴するのは高校生。実際の反応、先生たちが使いやすいかといった点をすり合わせていきながらより良くしていきたい。今後も進捗状況を報告していくのでご意見を頂きたい。

議題3：令和4年度実証授業について

- ・仲宗根より次第を使い説明
実証授業（会場：呉志川商業高校にて職業講話）
 - 令和4年7月11日（月） ホテル・プライダル系 （実施済）
 - 令和4年10月24日（月） 留学・国際ビジネス系
 - 令和5年1月30日（月） 空港関連・貿易業務

- ・今後の予定について（仲宗根）

令和4年12月16日（金）15：00～17：00

	<p>令和4年度 第2回プログラム検討委員会 その他：本日の参加お礼（近藤）</p>
--	--

以上 委員会を終了する。

文部科学省事業 令和4年度「専修学校による地域産業中核の人材養成事業」 第2回 プログラム検討委員会 議事録	
開催日時	2022年12月16日(金) 15:00~17:00
会場並びに開催方法	ZOOM 利用によるリモート方式にて開催
出席者	(プログラム検討委員) ・沖縄県立具志川商業高等学校 教諭 小那覇 千栄子 ・学校法人 静岡理科大学 静岡インターナショナル・エア・リゾート専門学校 教務課長 立石 公平 ・学校法人KBC学園 インターナショナルリゾートカレッジ 教務部長 近藤 賢宏 教務課長 新里 玲子 教務課長 宮城 良之 教務課長 吉原 亜矢子 就職課主任 細谷 麻衣 教務課主任 田村 明子 ・株式会社国際旅行社 取締役総務部長 山城 秀康 ・タビック沖縄株式会社 ユインチホテル南城 管理部 戦略人事 課長 高橋 俊博 ・沖縄ワタベウェディング株式会社 人事総務グループ 人材開発チーム マネージャー 内間 ゆり絵 ・JAL スカイエアポート沖縄株式会社 地域事業推進室 室長 金城 かおり ・学校法人KBC学園 地域創生室 支援部 部長 仲宗根 真 課長 喜納 政一 (議事録作成) ・学校法人KBC学園 地域創生室 支援部 部長 仲宗根 真
議題	議 事 議題1 令和4年度実証授業の報告 議題2 委員の皆様との情報交換(採用、教育、定着) 議題3 令和5年度事業取組について
配布資料	配布資料 資料① プログラム開発検討委員会 次第 資料② プログラム検討委員名簿 資料③ 令和5年度事業取組について
会議概要	仲宗根よりスケジュール、配布資料の確認後、近藤が挨拶。議題1にて仲宗根より令和4年度実証授業を報告し各委員より質疑応答を承る。議題2では各委員より職員の採用、教育、定着等について情報交換を行った。議題3で仲宗根より令和4年度-5年度の取組みを説明し、最後に今後の予定を確認して近藤の挨拶で終了。
目次	議題1：令和4年度実証授業の報告 ・仲宗根がパワーポイントを使い説明 感想、質問等 (田村委員) ・職業意識がまだ低い生徒も多いと思い、画像や動画を増やしてイメージがしっかり付くようにした。導入部分で最新の業界情報を伝え、まずは興味を持ってもらえる内容を中心に進めた。 ・小那覇委員に職業に対する事前授業をやってもらった点が大きく、生徒が前のめりで話を聞いてくれ質問も活発だった点がよかった。 ・高校生の現在の様子が完全に把握できていなかったので「どのような人になりたいか」よりも「できそう、楽しそう」というイメージで職業を選ぶことが多いと思い、段階を踏んでイメージが作れるよう伝えた。苦労する点も知り、それでもこのような素敵な職業人になりたいと感じる授業になればよいと思った。 ・今後も小那覇委員と連携し、事前に生徒が知りたいことや質問を共有することでさらに良い授業ができると思う。先生たちとの連携を高め、より精度の高い内容にしていけると思う。 (新里委員) ・担当した語学と国際ビジネスという分野は幅が広い。職業の選択というより、自身の適性を知ることや、今学んでいることが必ず進路選択に繋がっていくということを意識して伝えるようにしている。田村委員と同様、動画を多くして、今回は留学して

	<p>いる専門学校の学生が撮影した現地でのショートムービーを2～3本見せて実際の留学生生活を垣間見られるようにした。高校生たちの楽しんでいる様子が見られてよかった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・精度を上げるためには、事前に興味関心、質問などを絞り、伝えたいことを具体的にできれば良いと思う。 <p>(高橋委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業ではどのような動画を使用したのか？ <p>(田村)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ウェディングの感動の場面を集めた内容で企業が結婚式の素晴らしさを伝えるために制作。人が実際に感動している様子を見て、実際に人が感動するシーンを作ることが私たち職業人であることを理解してもらうために、かなりリアルな動画を見てもらった。 <p>(仲宗根)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業を見学していたが、前振りで田村委員は自身の経験を話して動画を流していた。動画プラス、人があいだに介在することで伝わりやすくなり、さらに動画が効果を上げていくのではと思った。 <p>(小那覇委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・田村、新里両委員とも自身の経験をもとに動画やクイズを取り入れ、すごく生徒の意識を引く工夫をしていた。生徒たちも興味を持って聞けていた。 ・田村委員の授業は自身の経験がすごく活きていて、なかには動画を見ながら感動して涙する生徒もいた。実際に現場で働いていた人も目の前にし、活発に質問が出ていた。関心を持っていたなという印象を受けた。新里委員の授業はクイズや実際に自分たちに年齢の近い専門学生の映像を見ることができた。実際に留学希望の生徒も多いのでイメージができてよかったと思う。 ・どちらの授業も給与や休日など現実的な点を意識している生徒にとって、不安な点も質問でできたことがよかった。自分たちが教えるだけではなく、来てもらい話をしてもらいメリットは非常に大きいと感じる。 <p>(仲宗根)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次回の授業を担当する宮城委員から質問はあるか？ <p>(宮城委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空港の業務はグランドスタッフなどお客様と直接関わるものと、駐機場にいる飛行機の荷物を取り扱うなど直接の関りがあまりないグランドハンドリングなど2つの種類に分けられる。これらを1つの空港業務として話をしようか。 <p>(小那覇)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5月に実施した専門学校の出前授業でグランドスタッフやキャビンアテンダントの話聞いた。1月はグランドハンドリングなど裏方の業務について話していただければと思う。 <p>(宮城)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グランドハンドリングはイメージがつきやすいと思う。クイズなどを取り入れ、充実した授業にしたい。空港で働くことについて、高校生のイメージやどう思っているかなども事前に知っておきたい。情報を交換しながら進めたい。 <p>(仲宗根)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次年度は具志川商業高以外で観光系学科を持つ高校でも授業を行う予定。今後の委員会でも情報を共有してもらいたい。 <p>議題2：委員の皆様との情報交換（採用、教育、定着）</p> <p><u>状況、課題等</u></p> <p>(仲宗根)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高校現場の進路状況や、観光に関する勉強がしたいという中学生は現在と過去で違いがあるか。 <p>(小那覇)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度リゾート観光科では、観光系の専門学校への進学者3名。外語・国際ビジネス系で8名程度いる。就職者は3年ほど前までは学校全体で7～8名いた。今年は3名程度で内定者1名。もともと就職希望者は多くなかったが、さらに減っている感じはある。 ・中学生の興味や関心について直接質問したことはないが、リゾート観光科への希望者は減っており定員割れとなっている。希望して入学する生徒は、将来観光系で就職したい気持ちは高いがそれが結びついていくのは難しい状況。中学生を含め、生徒全体が不安を抱えている感じがある。 ・もともと全体的に進学者が多く、就職は1/3。コロナ禍で観光系が打撃を受けていることを知り、接客業より事務系の希望者が増えている。最近は人と関わる仕事より、コンピュータ系を選ぶ傾向があるのではと感じる。この点は我々の課題でもあ
--	---

	<p>る。</p> <p>(仲宗根)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業側の状況も聞かせてほしい。 <p>(山城)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この2年で旅行業全体の約3割が他業種に流出したデータが共有されている。マスコミによる観光業への不安がある報道などもあり、中途採用の求人を行っても応募者は低いのが現状。 ・インターンシップなどを通じて地道にイメージを払拭している状況。高校生への実証授業と関連付けて企業側がどう連携するかなど地道にやっていきたい。 <p>(仲宗根)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中高校生のインターンシップ希望はあるか？ ・専門学生はインターンシップと就職が直結することが多いが、中高生は興味のある生徒が来るのか？ または学校側の割り当てで来ているかなど過去の事例などを教えてほしい。 <p>(山城)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問い合わせも無い状況。 ・高校生の場合は学校側から受け入れ人数の依頼が来るので、職業イメージは持っていない状態。社会人とはどのようなものか、という印象で来ている。 <p>(高橋)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホテル業界では人材不足がはなはだしい。コロナ禍の影響で他業種への流出が一定の割合でいる。新規開店のホテルも続いており、少ないパイを取り合っている状態非常に厳しい。 ・部門によっても採用のしやすさに差がある。もともとレストラン部門は不足していたが、調理関係はまったくいない状況。オープンできず、止む無く定休日を設けている。売り上げはあっても人がいないので営業することができない現実がおこっている。逆に事務やIT系は多い。 ・合同説明会でも観光部門のブースにはなかなか来てくれない。そもそも合同説明会自体にも人が来なくなっていると感じる。おそらく学生も「リモート慣れ」をしており、リモートですべてを決めている。これが接客離れも加速させているのではと感じる。 ・キャリア教育の一環で小中校へ出向き、観光の魅力を伝えることを行っている。ある学校でコロナ禍により影響を受けた業界の調べ学習を行っていた。子どもたちへ知らず知らずの間に影響を与えているのではと感じた。魅力を伝えることを地道に行っていくしかないと思う。 <p>(内間委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ブライダル業界でも今年のエントリー数はとくに減っている。求人企業からもホテル・ブライダル部門の求人はほぼゼロに近いと言われ、IT、金融、通信が多い。安定志向になっているという話があった。本格的に動きが見られ始める3月ごろに向け、意欲付けを行っている。 ・弊社でもコロナショックが深刻な課題。大学や専門学生向けにアルバイトからブライダル分野に触れてもらうことに力を入れ、現在70名ほどのアルバイト生がいる。アルバイト生からエントリーへ繋げる流れを作っている状況。 ・アルバイトを禁止している学校もあると思うが、高校生にもアルバイトという早い段階で就業体験をしてほしい。特にブライダル分野はホテルなどに比べて身近な存在ではないので、少しずつ結婚式の楽しさを知ってもらうなどから始めていきたいという考え、インターンシップよりアルバイトに力を入れている状況。 <p>(仲宗根)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アルバイトから就職に繋がった状況を教えてほしい。またアルバイトから就職へ繋げる工夫はあるのか？ <p>(内間)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年はアルバイト3名、インターンシップ2名の合計5名が内定した。 ・弊社の実績や教育支援、育成方法などをアピールするほか、アルバイト生でも等級制度やインセンティブを付けて、アルバイト以上に企業という意識を持って働けるようにしている。 <p>(金城委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空港でも人材の確保に苦戦。今年は8月から12月にかけて採用を行っているが例年に比べてだいぶ落ち込んでいる。離職率も3年目から上昇。コロナ禍で入職した人がこんなにも忙しいと思っていなかったというイメージの違いから退職してしまう。入社しても一定の割合で退職してしまっている。 ・県内外で説明会を行っているが、ゼロのこともある。他と同様、苦勞している状況。人によって興味の差が大きい。空港見学希望などにはなるべく答えるようにして、将来弊社に入社するかどうかは関係なく、観光業界全体に興味を持ってもらえる取り組みを行っている。
--	--

	<ul style="list-style-type: none"> ・インターンシップは再開したいが、現場の体制が優先となるので受け入れてきていない状況。 高校生のアルバイト制度はなく、契約社員として採用している。 <p>(細谷委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本校の学生就職状況は、ほとんどが観光業界で内定率 90%。例年に比べて進路変更者は少なかったと感じる。今年は観光関連の求人が多かったことや、学生たちも早めに就職活動に動いたことが理由ではないかと思う。 <p>(宮城)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・去年の卒業生がコロナ禍の影響を大きく受けた。自分自身の将来を積極的に考えて行動していた点が効果として上げられると思う。また途中から航空業界が回復し始めたことで意識を再認識でき今年は90%以上が航空業界に就職。他業界へ就職した1名は、もともとその分野にも興味があり、そちらに進んだ。ここ数年、給与面より「働きがい」で就職を選んでいる学生が多い。 観光業界の魅力を伝え続けることに責任を感じながら進めている。 <p>(田村)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年と大きく変わったと感じる点として、今年はある程度インターンシップが実施することができたこと。去年の卒業生はインターンシップを経験できなかったこともあり例年より他業種への就職が多かった。働きがいでの就職先を決めることが増えていることを考えると職業の魅力を伝えるほか、現場実習の重要性を感じた <p>(仲宗根)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・再度、インターンシップが行えなくなった場合に備え、代替となるものはありそうか？ <p>(田村)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業内で職業の楽しさを疑似体験できれば可能ではないか。期間をじっくり持ち、行うことで業界のさまざまな部分を知ることができる。期間や内容を企業と一緒に考えることでブレることのない学生の育成に繋がると思う。しかしインターンシップの経験が与える影響は大きい。 <p>(山城)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就職媒体を使ってもなかなか集めることが難しいので、個別で対応するようにしている。その際に必ず「なぜ観光業界を希望したのか」「観光業界で就職することに不安はないか」「友人や両親からは応援されているか」などを聞くようにしている。反応を示す人は自信を持っていてブレない。 ・以前に対応した学生から、いずれ観光業界は需要が戻るので両親からは応援されている。と言った子がいた。この点を踏まえると、高橋委員が言っていたように大人にも観光の魅力を伝える手段はないかを感じる。 <p>(内間)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・以前、入社式の様子をオンラインで発信し、保護者が視聴できるようにした。弊社の代表メッセージを直接伝えた。 <p>(高橋)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校でキャリア教育を行った際、その時間の一部が両親の参観日になっており非常に効果が高いと思った。これらを通じて、観光業界の魅力を直接伝えられる機会があればよいと思う。 ・就職希望者の中には、親御さんが観光業界で働いていることもあった。背中を押してくれていると感じた。 <p>(小那覇)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講話等を通じて生徒に職業の魅力を伝えてもらっているが、このプログラムを利用して生徒たちに施設や職場の見学をさせてもらうことはできないか？ <p>(各企業の委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大歓迎である。 <p>(仲宗根)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私たちが協力できることがあると思うので声をかけてほしい。 <p>(仲宗根)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・静岡インターナショナル・エア・リゾート専門学校や静岡県の様子を教えてください <p>(立石委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アフター・コロナを見据えている。東京で就職した卒業生の話によると、レストラン部門では人手がいいため、人材を集約して「オープン店」「クローズ店」と日によって営業日を分けて対応。 ・2024 年度向けの就職説明会がすでにスタート。年々早まっている傾向。1 月～2 月に企業による学内説明会を実施して、早期に人材を確保する流れになっている。 ・インターンシップに関しては、今まで授業カリキュラムに入れていなかった。1 ヶ月程の夏休みを利用して学校が紹介するインターンを自由参加にしていた。今年度からはアルバイト的にして個人で企業に申し込みをする方法にしている。 ・インターンシップとは別に、大規模なディナーショーで現場実習ができる取り組み
--	--

を実施。企業には交通費のみを負担してもらい、お客へのサービスを学生が行う内容。

議題3：令和5年度事業取組について

- ・仲宗根より資料③を使用して説明
状況、課題等

特に委員からの質問等はなし。

- ・今後の予定について（仲宗根）
令和5年1月30日（月） 実証授業
具志川商業高校にて 職業講話（空港関連・貿易業務）

令和5年1月20日（金）15：00～17：00
令和4年度 第3回プログラム検討委員会

その他：本日の参加お礼（近藤）

以上 委員会を終了する。

文部科学省事業 令和4年度「専修学校による地域産業中核の人材養成事業」 第3回 プログラム検討委員会 議事録	
開催日時	2023年1月20日(金) 15:00~17:00
会場並びに開催方法	ZOOM 利用によるリモート方式にて開催
出席者	<p>(プログラム検討委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・沖縄県教育庁県立学校教育課 産業教育班 指導主事 外間 勝 ・沖縄県立具志川商業高等学校 教諭 小那覇 千栄子 ・学校法人 静岡理科大学 静岡インターナショナル・エア・リゾート専門学校 教務課長 立石 公平 ・学校法人KBC学園 インターナショナルリゾートカレッジ 教務部長 近藤 賢宏 教務課長 宮城 良之 教務課長 吉原 亜矢子 就職課主任 細谷 麻衣 教務課主任 田村 明子 ・株式会社国際旅行社 取締役総務部長 山城 秀康 ・タビック沖縄株式会社 ユインチホテル南城 管理部 戦略人事 課長 高橋 俊博 ・JAL スカイエアポート沖縄株式会社 地域事業推進室 室長 金城 かおり ・学校法人KBC学園 地域創生室 支援部 部長 仲宗根 真 課長 喜納 政一 <p>(教材制作)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・株式会社 穴吹カレッジサービス 広原 敬幸 <p>(議事録作成)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校法人KBC学園 地域創生室 支援部 部長 仲宗根 真
議題	<p>議事</p> <p>議題1 令和4年度制作物ご紹介 議題2 令和5年度に向けての意見交換 議題3 令和5年度委員会日程 案 提示</p>
配布資料	<p>配布資料</p> <p>資料① 観光分野 R4 度開発教材</p>
会議概要	<p>仲宗根よりスケジュール、配布資料の確認後、近藤が挨拶。議題1にて仲宗根より令和4年度の振り返りを行い、広原より R4 年度開発教材を紹介。議題2では仲宗根より令和5年度の実施計画を説明し、各委員と意見交換を行った。議題3で仲宗根より令和5年度の委員会日程の案について案内があり、最後に今後の予定を確認して近藤の挨拶で終了。</p>
	<p>議題1：令和4年度制作物ご紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仲宗根より今年度の事業報告を動画にて。その後、広原が資料①を使い開発教材を説明。 <p>感想、質問等 (小那覇委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テロップが入っているなど以前に比べわかりやすくなっており非常に良い。インタビューされる方の話し方や表情に注目させるなど普段自分たちが行っている授業とは異なる視点もあり、職業に対して憧れを抱かせると感じた。またワークシートも虫食いにするのでしっかり聞こうという意識につながるのだから良いと思う。 ・変容調査では多くの質問に答えることで、生徒も今まで気づかなかった興味や関心に気づくのではないかと感じた。早く授業に取り入れてみたい。 <p>(外間委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小那覇委員同様、大変すばらしい教材だと感じる。モデルとなる先輩が出演しているので、業界に対して興味、きっかけになると思ういい教材である。 <p>(立石委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初めに観光業界全体を知り、次に具体的にになっていくという流れでわかりやすく非常にいい教材であると感じる。視聴後に実際に職場見学に行けば、より理解度が深まると思う。教材としては非常に有効。 ・企業によっては、モノや職種の呼び方、オペレーションが変わってくると思う。いろいろな企業や専門学校に視聴してもらい追加できれば良いと思う。若い人たちに職業を知ってもらおう教材としては良いものができると思う。 <p>(仲宗根)</p>

- ・高校生が自学自習するという視点から見ての感想はどうか
(田村委員)
- ・システムの作られており、高校生が集中して視聴できる取り組みができており非常によい。
- ・高校での職業講話で重視している点は、働くことは楽しいというキラキラした現場の方の姿を見せることが大切であると思っている。先ほどの動画はインタビューが多い内容であった。完成版の動画には実際に働いている様子の映像も入っているのか？
(広原)
- ・実際に働いている様子を撮影してもらえた企業は、大分入っている。「見る」を中心とした映像ではかなり入っているが、「聞く」というところではインタビューのみにしている。
(田村)
- ・動画による情報は入りやすいと思う。全職種で楽しく働いている様子が見られれば、いろいろなものに興味が持てるのではと思う。
(山城委員)
- ・各企業を論理的、客観的に理解することができていいと思った。視聴後の変容調査で可視化できる点が良い。これをきっかけに企業側では、より立体的に理解を深めた生徒がインターンシップや企業訪問で先輩から話を聞くことができ、さらに理解を深めることができると思った。
- ・動画にすることで、見返しやすい興味を持ったものをもう一度見るといった効果的な使い方もできて良いと思った。
(高橋委員)
- ・山城委員同様、動画という点は伝わりやすく非常に良いと思った。現代の若い世代は確実に動画の方がわかりやすいというのが圧倒なので、テキストと動画が一体化しているのは本当に良い。
- ・インタビューはあくまでも個人の感想で、業界全体の声ではない点が不安ではある。本音と建て前というか、こちらと現場の考えが異なるなど良くも悪くもプラスとマイナスの部分が見えるのではないか感じる。個人のフィルターを通して客観性に不安が残る。同じ業種で複数あればより良いと思う。テキストは作りこまれていて良いと感じる。
(金城委員)
- ・動画制作に応じた社員から、どう見られているか、どうあるべきかを見直すことができる良い機会になったという感想があった。普段、学生たちからの声を聞く制服を着用している姿など表面的な憧れからといったものも多い。華やかな部分だけではなく大変なこともあるが、そこを乗り越えた先にやりがいを感じることができることを知ってもらえれば良いと思ったので、出演した社員には飾ることなく、自分の意見を思った通りに答えてほしいと伝えた。高校生がこの業界に興味を持ってもらえるきっかけになれば幸い。

議題2：令和5年度に向けて意見交換（キャリア支援・人材確保・定着率向上に向けて）

- ・仲宗根がパワーポイントを使い説明。
状況、課題等
(小那覇)
- ・職業理解ガイダンスとして、引き続き講話は新2年生に向けて実施したいと考えている。以前の委員会で相談させてもらった企業見学をもっと入れていきたい。施設見学のほかジョブシャドウイングを通じて、実際に現場で働く先輩を見せてもらうことは企業から学校に来て話してもらえるものとは違うので取り入れてほしい。
- ・専門学生との交流も取り入れたい。年齢の近い先輩から進路選択の話聞くことで、選択の幅を広げることができると思う。
(仲宗根)
- ・次年度に向けて、具体的にいつ頃が良いのか
(小那覇)
- ・7月、10月あたり。今年度の2月も実施できればいいとは考えている。
(外間)
- ・春頃からコロナ禍の制限に対し、ひと段落しそう。インターンシップが再開できれば良いと思う。企業のみならずにはぜひ受け入れをお願いしたい。先日、県立高校の推薦倍率が公表された。観光系の学校は昨年度に比べ全体的に減少している点気になる。せっかく良いプログラム制作を行っているの、次年度は具志川商業高での取り組みを通じて「こんなことが学べる」ということを中学校側に発信していきたい。先生たちの忙しさもわかるが、中学生に発信してもらえればと思う。
(仲宗根)

・中学生での高校選びは、ある意味で初めての職業選択ではないかと考えると、外間委員の発言は重要であると思う。今回、文科省がこのプログラムを採択した理由として、中学校から企業までの四者間を繋ぐという点を評価してもらえたと考えている。我々も中学校に対し、観光業の魅力や観光に関する知識を具志川商業高で学べることを伝えることができればと思う。

(立石)

・コロナ禍により修学旅行の中止、行動の規制、空港やホテルの利用減少によって楽しい旅行の機会が減ってしまった。楽しい旅行を通じて、CA や空港スタッフ、ホテルスタッフなどに憧れるきっかけが減少したことが中高生の進路にも影響していると思う。あと数年は尾を引いてしまうと印象を受けている。観光系を目指す中学生が減っているとのことだったが、観光系を希望して進学した生徒が確実に観光分野で進学・就職できる仕組み作りも重要と思う。自分たちも観光分野への就職確立について改めて考えていきたい。

・高校時代のインターンシップを通じて本校へ入学した事例がある。高校と企業の連携は専門学校にとってもプラスになる。また企業から本校への入学を勧めたという出来事もあるので、連携という流れは非常に良い。

(山城)

・企業として中学生に向けたプログラムの手伝いが出来ると思った事として、当社の若手社員が職業に関して客観的に話ができる準備を行い、学校など外部でのイベントに協力できないかと考えている。

(高橋)

・先ほどインターンシップやジョブシャドウイング、職場見学等の話があったが、我々もぜひ協力していきたい。時期的な話をすると、沖縄は 7～8 月はトップシーズンとなるのでこの時期での受け入れは難しい。10 月～11 月はインターンシップ、中学生の職場体験を受け入れている期間となるので時期的に良い。2 月も比較的受け入れは可能であるが、プロ野球やサッカー選手などのスポーツキャンプが行われるのでホテルによっては難しいかもしれない。秋口、または 6 月頃での実施は非常に良い。プライダル分野は 10～11 月がトップシーズンになると思うので、そこはまた業種によって異なると思う。

(金城)

・空港関係も高橋委員同様、7 月からはかなり忙しい繁忙のシーズンに入っていくのでインターンシップやジョブシャドウイング等の受け入れは難しい。今後の採用、業界に興味を持ってもらうという点に関しては出来るだけ早く、多く受け入れたいという気持ちはあるので、出来るだけ調整を行いたいと思う。

・中学生に向けての話になるが、弊社では過去に小学校に出向き「航空教室」を行っていたので、そういった機会も設けられればと思う。去年、一昨年はコロナ禍で実施することができなかったが今後実施できるのであれば中学生を対象に出向いて、興味を持ってもらえるきっかけになれば良いと思う。

(仲宗根)

・企業によっては、繁忙期などどうしてもインターンシップの受け入れが難しい期間があるので、その際には専門学校から講師を派遣して職業に関する授業を行うなど、年間を通してキャリア教育支援ができるような体制を整えたい。

(宮城)

・数年前に実施した際は、動画等の教材もまだ浸透していなかったが、今回は委員会を通じて映像教材の効果について聞いていたので、OC 用の映像などを高校生がより身近に感じられるよう再編集して準備を進めていきたい。

・高校現場のスケジュールもあると思うがこのような職業講話は 7 月～8 月頃までに月 1 回程度のペースでまとめることができれば、その後に生徒の希望を聞いてインターンシップに繋げたり、職業講話の前に現場見学を実施するなど 2 年生までに「現場見学・職業講話・インターンシップ」という流れができて 3 年生での進路選択が明確にできるのではないかと考えた。このようなスケジュール調整は可能か？

(小那覇)

・職業講話は授業の中に週 2 単位として組み込んでいるので前半にまとめることは調整可能と思うが、その後のインターンシップや職場見学は細かな調整が必要なので今すぐには回答できない。講話をまとめることはできそう。

(宮城)

・3 年生になるとどうしても焦りがでてしまうので、1～2 年生で自身の職業イメージができると良いと思う。相談してもらえれば専門学校として協力させてもらいたい。

議題 3：令和 5 年度委員会日程 案

・仲宗根の進行で説明。

- ①第1回 令和5年8月
- ②第2回 令和5年11月
- ③第3回 令和6年1月

・今後の予定について（仲宗根）
令和5年1月30日（月） 実証授業
具志川商業高校にて 職業講話（エアポート・エアカーゴ）

その他：本日の参加お礼（近藤）

以上 委員会を終了する。

令和4年度文部科学省委託
「専修学校による地域産業中核の人材養成事業による委託事業」

沖縄・観光分野における
有機的高専連携プログラム開発・実証事業

令和4年度 事業報告書

令和5年2月

学校法人KBC学園 専修学校インターナショナルリゾートカレッジ
〒901-0155 沖縄県那覇市金城5丁目8番地6

